

# Kanoya

2014 National Institute of Fitness and Sports

国立大学法人  
鹿屋体育大学



## 学長からのメッセージ



学長 福永 哲夫

体育とは体を育むことです。

国立体育大学としての鹿屋体育大学の使命の一つは、日本国民の体を育むための教育と研究を行うことです。

この数年の傾向として、子供から老人にいたる日本人の筋力や持久力などのいわゆる体力の低下が報告されています。体力が低下することは、働く能力(生産性)が落ちるばかりでなく、疲れやすい、動きたくない等、病気ではないけれども元気がない生活を意味しています。体力低下を引き起こした原因の一つに、日常生活において体を動かす時間がなくなってきていることがあげられます。車、テレビやコンピュータが日常生活に入り込んできていることが、運動の機会を少なくしている大きな原因であることが報告されています。

人間も動物である以上、筋を使って動くことが生命を維持するためには必要不可欠です。このように、現代社会においては、日常生活において筋が収縮する(運動する)機会を増やす工夫が必要です。しかしながら、どれくらいの量の筋の収縮が必要であるか、どのようにすれば効果的であるか、日常生活に筋活動をどのように組み込めばよいのか等、多くの課題が残されています。このような、国民の健康と体力の問題解決に直接かかわる学問領域が体育学、スポーツ科学です。鹿屋体育大学は、このような社会の要求にこたえることが出来る環境を備えており、これからの日本人の「体を育む」研究と教育に資することが期待されています。

# Introduction

## 真の体育系創造派になるために

アスレティック・クリエイターになる。

ヘルス・クリエイターになる。

サイエンス・クリエイターになる。

トラディショナル・クリエイターになる。

ティーチング・クリエイターになる。

さまざまな可能性を実現するために、今がある。

そのためのフィールドがここにある。

## 未来へー 体育系創造派たちよ。

クリエイト、創造ということ。

その可能性をスポーツの分野でも

見い出すことができる人。

その夢をめざし、アクションを起こす人。

そんな若者を、私たちは体育系創造派と呼びます。

自分らしい夢がいい。遠大な夢がいい。

輝くのは、追いつける姿。

思い描く明日があるから、今日を疾走できる。

さあ、フィットネスとマインドが

調和したゴールをめざして。

南国、鹿児島からスタートの号砲が聴こえる。

### Introduction

1

- 体育学部
- 大学院
- 施設

### Message of Spirit

14

- 在学生からのメッセージ
- 卒業生からのメッセージ
- 留学生からのメッセージ(国際交流)

### Campus Life

22

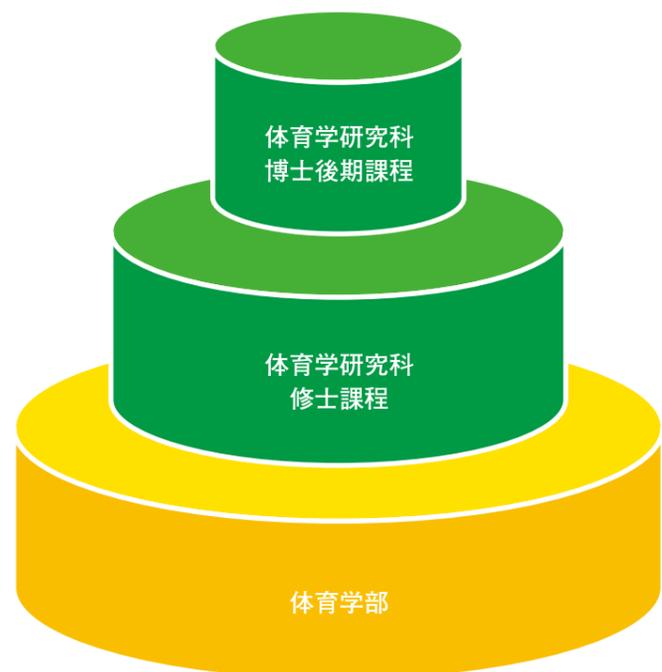
- 年間行事
- サークル活動
- 福利厚生
- 学生宿舎
- 所在地

### Data

29

- 入試結果
- 就職
- 学費・奨学金・傷害保険
- Q&A・インフォメーション
- 大学説明会・体験授業
- 資料請求

競技力の向上、運動による健康づくり、そして個性輝く大学を目指す。



鹿屋体育大学は、体育・スポーツ、レクリエーション及び武道（以下「スポーツ・健康」と総称する。）に関する理論と実践を教授研究し、もって豊かな教養と高い学識及び優れた技能を合わせ備えた実践的、創造的なスポーツ・健康に関する指導者を養成するとともにスポーツ・健康に関する理論や実践の深奥をきわめ、その進展に寄与することを目的としています。

あなたは、ポテンシャルを  
どこで発揮しますか？

### 体育学部の目的

体育学部では、深く専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的及び応用能力を展開しうる優れた実践的なスポーツ・健康に関する指導者を養成することを目的としています。

### 大学院体育学研究科の目的

大学卒業後、さらに深く体育学の分野を研究したい人のために、大学院体育学研究科(修士課程-博士後期課程)が設置されています。

本学大学院は、精深な学識を受け、体育科学分野における専門的知識・技術の教授研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要能力を養うことを目的としています。

### アドミッション・ポリシー

本学は、心身ともに健康でスポーツを愛好する次のような人材を養成することを目標としています。

—体育・スポーツ及び武道の分野において、理論と実践とを連結する能力を有し、かつ人間的な魅力に満ちた指導者になり得る人材—

- 競技スポーツの分野において、競技選手の競技力向上を適切に支援することができる指導者になり得る人材
- 生涯スポーツ・健康づくりの分野において、人々の健康状態や体力等に応じた適切な指導ができる指導者になり得る人材

このため、入学者選抜試験を通じて本学が求める人材像は、次のとおりです。

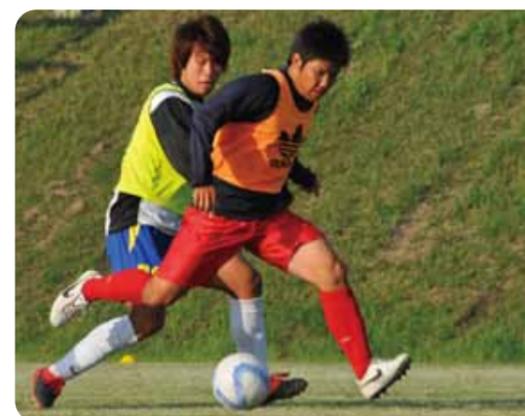
- スポーツ・武道を自ら実践することを通じて、心身を鍛え、スポーツマンシップを身に付け、自主性や自律性を持ち、新たな課題に進んで挑戦しようとする感性豊かで協調性やコミュニケーション能力、思いやりの心を備えた学生
- スポーツ・武道の実践や文化としてのスポーツ・武道を愛好し、あるいは運動による健康づくりに関心を持ち、生涯を通じてこれと深くかかわりたいと考えている学生

### ● 高等学校で身に付けてほしい学力・能力

体育・スポーツ及び武道を学ぶにあたっては、人文・社会科学から自然科学まで幅広い分野の学修が求められることから、高等学校での学習は保健体育の基礎的な学力だけでなく、国語や英語で修める文献などの読み解きやコミュニケーションする基礎的な能力、理科や数学で修める人体のしくみや動きなどを分析するための基礎的な学力、並びに地理歴史や公民で修める社会における体育・スポーツ及び武道の役割などを理解するための基礎的な学力を身に付けておくことが大切です。さらに、体育大学での専門的な実技実習などを修学するために必要なスポーツ・武道の実技能力を身に付けておくことも大切です。

## 体育学部

Faculty of Physical Education



### スポーツ総合課程

近年、国際競技力の向上に関する国民的関心や生涯スポーツ・健康運動などに関するニーズが極めて高まっており、トップレベルのアスリートの育成、生涯にわたるスポーツ・健康づくりのコーディネートや科学的サポートなどに関する最新の専門的能力を備えた人材の養成を図っています。実学を重視し、科学的な基礎知識と幅広い応用能力及び優れた実技指導能力をもった人材の育成を目標とし、スポーツを通じて国際的感覚の養成に努めています。



### 武道課程

近年、日本の伝統文化を尊重するとともに他国の文化に対しても敬意を払える“心”の養成が強く求められています。我が国の民族的遺産であり固有の文化としての武道、特に柔道・剣道における“心”と“技”を伝統的修練形式による実践を通じて学び、これからの生涯学習時代に「生きる力」を与えることができる人材の養成を図っています。運動科学や健康づくりの基礎的な素養を有し、武士道の精神を備えた、国際社会の進展に対応できる人材の育成を目標としています。

## 教育内容の特色

本学の教育課程は、「スポーツ・健康」に関する理論と実践を教授研究し、もって豊かな教養と高い学識及び優れた技能を合わせ備えた実践的、創造的なスポーツ・健康に関する指導者の養成を図る観点から、教育内容については、次の諸点に配慮しています。



- ① スポーツ・健康に関する指導者として幅広い知識と豊かな人間性を培うため、社会連携の理念を身につけさせるための授業科目を開設していること。
- ② スポーツ・健康に関する指導者として海外においても活躍できるように英語に関する言語とコミュニケーションの授業科目を開設していること。
- ③ スポーツ・健康に関する指導者としてのキャリア形成を促進するための授業科目を開講していること。
- ④ スポーツ・健康に関する指導者としての基礎知識と技術を身につけさせるための授業科目を開講していること。
- ⑤ 年齢、職業、健康状態等に応じて適切な指導を行えるようにするため、人体の機能、発達、健康等に関する授業科目を開講していること。
- ⑥ 競技力の向上を図るため、科学的トレーニング方法に関する授業科目を開講していること。
- ⑦ スポーツ・健康に関する実技については、専門とする運動種目に関して高度な運動・指導技術を身に付けさせるとともに、なるべく多くの運動種目に関する授業科目を開講していること。
- ⑧ スポーツ・健康に関する実践的な指導能力を涵養するため、スポーツ指導の学外実習に関する授業科目を開講していること。

## すべてはキミの可能性の実りのために。

### 教育課程

- ① 教育課程(カリキュラム)とは、本学の教育目的を達成するために必要な授業科目を開設して、体系的に編成されたものです。
- ② この教育課程に基づいて、学生が自分の意志で履修計画を立て学習することが前提となっています。そのために本学は学生に役立つ教育課程を学生に提示しており、その教育課程の中から自分の進路、希望に応じた授業科目を自主的に選択する仕組みになっています。
- ③ 本学の教育課程は、その教育内容について本学の特色を発揮するための工夫がされており、また、学生自身の学習計画を樹立するにあたっての諸条件を定めています。

現在、本学体育学部については、平成26年度からの教育課程改訂に向けて検討を行っており、検討結果によっては、P3～P8の免許・資格までの内容が変更になる予定です。

### 授業時間

#### (1) 学期と授業時間割

学年を次の前期・後期に区分し、原則として各学期ごとに授業科目の設定を行います。  
なお、授業は、原則として各学期とも15週(試験を課す場合は16週)にわたって行います。

	第1時限 (90分)	第2時限 (90分)	第3時限 (90分)	第4時限 (90分)	第5時限 (45分)
開始	8:30	10:10	12:40	14:20	16:00
終了	10:00	11:40	14:10	15:50	16:45

前期:4月1日～9月30日 後期:10月1日～3月31日  
授業は、左表のとおり行います。  
集中講義や学外授業などを行うことがあります。

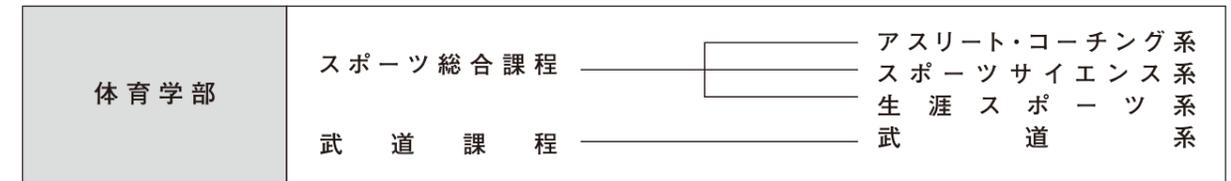
#### (2) 休業日

- ① 週休日(土曜日・日曜日)及び国民の休日に関する法律に定める休日
- ② 開学記念日(10月1日)
- ③ 夏期休業日(8月3日～9月30日) 冬期休業日(12月26日～1月7日) 春期休業日(3月11日～3月31日)
- ④ その他大学が定めた日 注:休業日においても、特別な場合には講義を行うことがあります(集中講義等)。

#### (3) 授業の方法

講義、演習、実験、実習若しくは実技又はこれらの組み合わせにより実施します。

## 「課程」と「系」



### アスリート・コーチング系

トップアスリートを目指して国際的あるいは全国大会で活躍するための競技力の向上と、ジュニア期からトップレベルまでの一貫した競技力向上のための指導(コーチング)を行うことができ、スポーツサイエンスや生涯スポーツの基礎的な素養を持った人材を養成するための専門的教育を行います。

### 生涯スポーツ系

人々の生涯スポーツと運動による健康づくりをコーディネートし、地域・民間のスポーツクラブやスポーツ施設の管理運営、プロスポーツを含むスポーツビジネスの経営などのスポーツマネジメントや、高齢者までのスポーツプログラムや介護予防のためのフィットネスプログラム開発を行うことができ、スポーツサイエンスやコーチングの基礎的な素養を持った人材を養成するための専門的教育を行います。

### スポーツサイエンス系

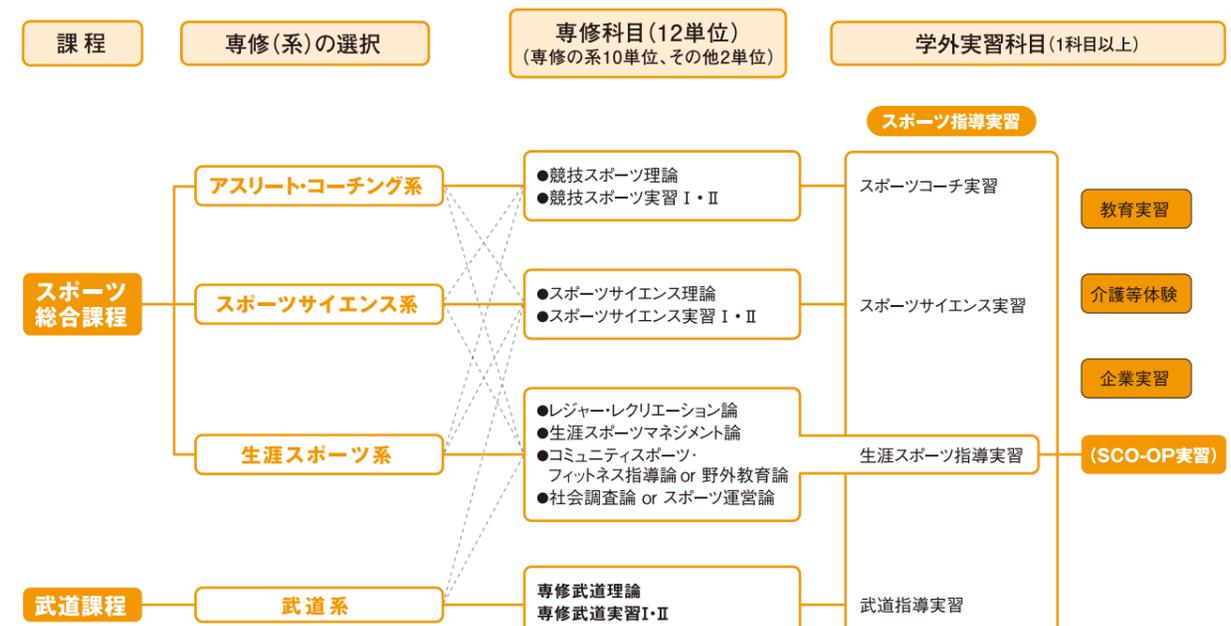
バイオメカニクス、運動生理、スポーツ医学、スポーツ心理、運動処方、栄養、コンディショニングなどの各側面からの科学的サポートをアスリートに対して行うことができ、また、生涯スポーツの領域においても健康科学的サポートを行うことができる人材を養成するための専門的教育を行います。

### 武道系

我が国の民族的遺産であり、固有の文化としての武道、特に柔道・剣道における「心」と「技」を伝統的修練形式による実践を通じて学び、これからの生涯学習時代に「生きる力」を与えることができ、運動科学や健康づくりの基礎的な素養を有した人材を養成するための専門的教育を行います。

## 専修の系の選択

- ① スポーツ総合課程に所属する学生は、2年次から「アスリート・コーチング系」「スポーツサイエンス系」「生涯スポーツ系」より1系以上を選択します。また、専門性に偏りが生じないように、専修した系以外にも他の系より指定された科目について選択し、履修します。
- ② 武道課程に所属する学生は、1年次から武道系を選択します。なお、専門性に偏りが生じないように、「スポーツサイエンス系」あるいは「生涯スポーツ系」より指定された科目について選択し、履修します。また、「スポーツサイエンス系」あるいは「生涯スポーツ系」も履修することができます。



## 教育課程の編成

- ① 授業科目は、原則として学期完結型(各学期ごとに単位認定を行う。)として設定しています。  
 ② 授業科目は、一般科目、キャリア形成科目及び専門科目に区分され、下表のとおりの内容です。

区分	科目	内容
一般科目	コミュニケーション科目	国際社会における人と人とのコミュニケーション能力を育成する科目
	社会・文化科目	グローバルな社会における豊かな人間性、倫理性を涵養する科目
	自然・環境科目	人を取り巻く自然・環境の理解を促進する科目
	総合科目	人の総合的な能力を統合する科目
キャリア形成科目	キャリア形成セミナー	修学・学生生活の案内・指導、キャリア形成、就職対策等を少人数のクラス、あるいは全員で行う科目
	教職関連科目	教員免許取得、採用試験対策等のための科目
	学外実習科目	学外における実習による職業観・就職観の醸成、社会における体育学の実践的な専門性の涵養等のキャリア形成を促進する科目
専門科目	共通科目	体育学における専門性の基本となる科目
	専修科目	体育学において専修する領域の専門性を培う科目
	関連理論科目	体育学における幅広い理論的能力を培う科目
	関連実践科目	体育学における幅広い実技実践能力を培う科目
	ゼミナール(卒業研究)	体育学に関連して特に関心を持った領域について、少人数の討論形式で指導する科目(卒業論文を作成するための研究)

## 単位互換等

- ① 本学は、鹿児島県内大学等及び放送大学と単位互換協定を締結し、当該大学の授業科目を履修し、試験に合格すると、本学の授業単位として認定されます。  
 ② 実用英語技能検定、TOEFL、情報処理技術者試験及び日本赤十字社が開講する救急法救急員養成講習会についても、本学の授業科目として読み替えることができる場合があります。

## 平成25年度授業科目一覧

### ① 一般科目

区分	授業科目名	開講年次	区分	授業科目名	開講年次	区分	授業科目名	開講年次
コミュニケーション科目	英語基礎	1	科目	留学生のための英語(▲)	1	自然環境	生物化学論	1
	英語I	1		日本語演習I ※25年度開講(▲)	1		身体科学論	1
	英語II	2		日本事情 ※25年度開講(▲)	1		環境論	1
	英語III	3		日本語演習II(▲)	2		総合演習A	2
	英語コミュニケーションI	1	現代日本事情(▲)	2	総合演習B	2		
	英語コミュニケーションII	2	各国文化研究	1-4	総合演習C	3		
	英語コミュニケーションIII	3	倫理・哲学	1	総合演習D	2		
	英語コミュニケーションIV	4	人権・ジェンダー論	1	総合演習E	2		
	中国語	2	歴史・社会学	2	情報処理A	1		
	韓国語	1	日本国憲法	1	情報処理B	2		
	国語・文章表現法	1	障害者スポーツ論	3	情報処理C	2		
	プレゼンテーション・討論概論	3	日本文化論	1	ボランティア活動	1-4		
	ドイツ語	3	異文化理解	3	交流リベラルアーツ	1-4		
	フランス語	3	国際関係論	4				

▲は外国人留学生を対象とした科目

### ② キャリア形成科目

区分	授業科目名	開講年次	区分	授業科目名	開講年次	区分	授業科目名	開講年次
キャリア形成セミナー	キャリアデザインI	1	教職関連科目	教育方法・技術	2	学外実習科目	スポーツコーチ実習	3
	キャリアデザインII	2		教育史	3		スポーツ指導実習	3
	キャリアセミナー	3		教育法・教育行政	3		【生涯スポーツ指導実習】	3
	就職対策セミナー	3		保健体育科教育法II	3		武道指導実習	3
教師論	1	保健体育科教育法III		3	企業実習		3	
教育心理学	2	保健体育科教育法IV		3	介護等体験	3		
保健体育科教育法I	2	生徒指導論		3	教育実習I	4		
道德教育の研究	2	教育相談・カウンセリング論		3	教育実習II	4		
特別活動論	2	教育課程論		3	SCO-OP実習	3-4		
				教職実践演習(中・高)	4			

### ③ 専門科目

区分	授業科目名	開講年次	区分	授業科目名	開講年次	区分	授業科目名	開講年次		
共通科目	解剖生理学	1	スポーツサイエンス系	競技スポーツ理論	2	関連理論科目	精神保健	3		
	運動生理学	1		海洋スポーツ	2		身体発育発達論	3		
	スポーツ栄養学	1		陸上競技	2-4		運動生化学	2		
	スポーツ社会学	2		水泳	2-4		スポーツ法・安全論	3		
	スポーツ経営・管理学概論	2		体操競技	2-4		生涯スポーツ実践論	3		
	スポーツ心理学	1		バレーボール	2-4		労働衛生学	3		
	バイオメカニクス	2		バスケットボール	2-4		スポーツトレーニング実践論	2		
	トレーニング科学概論	2		サッカー	2-4		スポーツ戦術実践論	3		
	救急処置論・実習	2		テニス	2-4		武道史	2		
	スポーツ医学	3		海洋スポーツ	2-4		武道文化論	3		
	運動処方論・実習	3	運動生理学・バイオメカニクス	2	陸上競技	1				
	マッサージ・テーピング論・実習	3	スポーツ心理学	2	体操	1				
	コーチ学概論	2	アスレチックトレーニング	2	バスケットボール	1				
	生涯スポーツ学概論	2	スポーツ栄養学	2	サッカー	1				
	体育・スポーツ行政学	3	運動生理学・バイオメカニクス	2-4	ラグビー	2				
	トレーニング方法論・実習	3	スポーツ心理学	2-4	水泳	3				
	スポーツ指導論	3	アスレチックトレーニング	2-4	器械運動	3				
	スポーツマーケティング論	3	スポーツ栄養学	2-4	創作ダンス	3				
	施設・用具・プログラム論	3	アスレチックリハビリテーション論・実習	2	バレーボール	3				
	サービス概論	3	ヘルスサイエンス論・実習	2	柔道	1				
応用スポーツ心理学	3	スポーツ・レジャー・マネジメント論	2	剣道	1					
イベント管理学概論	3	生涯スポーツ・フィットネス指導論	3	エアロビックダンス	1					
専修科目	アスリート・コーチング系	競技スポーツ理論	関連理論科目	レジャー・レクリエーション論	2	関連実践科目	ジョギング&ウォーキング	1		
				生涯スポーツ・プロモーション論	2		社会調査論	3	生涯スポーツ・レクリエーション&ゲームズ	1
				コミュニティスポーツ・フィットネス指導論	3		スポーツ運営論	3	テニス	2
				野外教育論	3		生涯スポーツ指導実習	3	夏季山岳レジャースポーツ実習	2
				社会調査論	3		ヘルスプロモーション論・実習	4	冬季山岳レジャースポーツ実習	2
				スポーツ基礎実習	1		専修武道理論	1	海洋スポーツ	2
				陸上競技	1		柔道	1	卓球	3
				水泳	1		剣道	1	バドミントン	3
				体操競技	1		専修武道実習I・II・III	2-4	ソフトボール	4
				バレーボール	1		剣道	2-4	ゴルフ	4
バスケットボール	1	体育・スポーツ統計学	1	なぎなた	2					
サッカー	1	健康教育学	1	相撲	2					
テニス	1	救急法実習	1-4	弓道	4					
海洋スポーツ	1	運動学概論	2	古武道	4					
武道学概論	1	学校保健	2	ゼミナール(卒業研究)	ゼミナールI	2				
武道基礎実習	1	衛生学・公衆衛生学	2		ゼミナールII	3				
柔道	1	スポーツカウンセリング論	2		ゼミナールIII	4				
剣道	1	体育・スポーツ史	1		卒業研究	4				
		スポーツ文化論	2							
		スポーツ産業論	2							
		スポーツ老年学	2							

## 本学で取得できる免許状

	免許・資格の種類	資格認定団体等	職務内容等
免許状	中学校教諭一種免許状	各都道府県教育委員会	中学校・高等学校の保健体育の教諭
	高等学校教諭一種免許状		

## 一部共通科目又はすべての共通科目の免除により受験可能な免許・資格

免許・資格の種類	資格認定団体等	職務内容等
スポーツリーダー	日本体育協会	・地域におけるスポーツグループやサークルなどのリーダーとして、基礎的なスポーツ指導や運営にあたります。
指導員		・地域スポーツクラブ等において、スポーツに初めて出会う子供達や初心者を対象に、競技別の専門的な知識を活かし、個人々の年齢や性別などの対象に合わせた指導にあたる。 ・地域スポーツクラブ等が実施するスポーツ教室の指導にあたる。 ・施設開放において利用者の指導支援を行う。
コーチ		・地域において、競技者養成のための指導にあたる。 ・広域スポーツセンターや各競技別のトレーニング拠点において、有望な競技者の育成にあたる。 ・広域スポーツセンターの巡回指導に協力し、より高いレベルの実技指導を行う。
教師		・商業スポーツ施設等において、競技別の専門的指導者として、質の高い実技指導を行う。 ・会員(顧客)が満足できるよう、個人々の年齢や性別、技能レベルやニーズなどに合わせたサービスを提供する。
スポーツプログラマー		・主として青年期以降の全ての人に対し、地域スポーツクラブなどにおいて、フィットネスの維持や向上のための指導・助言を行う。
ジュニアスポーツ指導員		・地域スポーツクラブ等において、幼・少年期の子どもたちに遊びを通じた身体づくり、動きづくりの指導を行う
アシスタントマネージャー		・総合型の地域スポーツクラブなどにおいて、クラブ員が充実したクラブライフを送ることができるよう、クラブマネジメントの諸活動をサポートする。
サッカーC級コーチ	日本サッカー協会	・地域においてスポーツ活動を実施しているクラブやグループ、スポーツ教室で、サッカーの基礎的な技術や一般的な身体活動の指導を行う。
社会体育指導員(初級)	全日本剣道連盟	・地域において、剣道活動を実施している学校・道場・クラブ・グループ・スポーツ教室等で剣道の指導にあたる。
健康運動実践指導者免許	健康・体力づくり事業財団	・市町村保健センターやフィットネスクラブ等で健康づくりのための運動指導等にあたる。
健康運動指導士免許		・メディカルスタッフと連携し、メタボリックシンドロームの予防、生活習慣病ハイリスク者への運動指導、少子高齢社会を踏まえた介護予防のための運動指導にあたる。
イベント予定	日本イベント産業振興協会	・イベントの総合的な企画、運営等にあたる。
レクリエーション・インストラクター	日本レクリエーション協会	・さまざまな遊びのメニューと技術を持ち、楽しさの体験を多くの人に提供する。
レクリエーション・コーディネーター		・地域におけるスポーツ活動を支援し、仲間づくりや人々のふれあい活動を推進する。

# 大学院

## アドミッション・ポリシー

21世紀の体育学は、人文・社会科学分野と自然科学分野の諸科学が体系的に融合し、学際的な複合新領域として発展する方向にあります。

### 修士課程

スポーツや身体運動を通して、国民が健康で幸福を享受できる社会の構築に貢献する専門的・実践的な能力の養成及び職業人として中核的な役割を担う人材の育成を目指しています。本課程では、次のような人材を求めています。

- 豊富なスポーツ実践活動の経験と有し、科学的な研究成果を実践へと応用することによって、我が国における競技スポーツや武道実践の分野、体育及びスポーツ教育の分野で中核的な存在として活躍する意志と能力を持つ人
- 生涯スポーツが国民の健康や幸福に与える価値を認め、我が国のスポーツや身体運動に関する文化、地域政策、医療福祉、健康産業、ビジネスなどの分野で中核的な存在として活躍する意志と能力を持つ人
- 国際的な視野と感覚を有し、スポーツや身体運動に関する高い水準の独創的な研究を推進するために、博士後期課程に進学する意志と能力を持つ人
- 体育及びスポーツの分野ですでに活躍している現職者で、本教育課程を通して、さらに高度な専門的能力を身に付ける意志と能力を持つ人
- 高い競技力を有し、国際的な大会で活躍できるとともに、我が国の代表として誇れる人格と教養を持ち得るトップアスリート

### 博士後期課程

体育学に関する最先端の研究活動を推進するとともに、スポーツや身体運動を通して、国民が健康で幸福を享受できる社会の構築に貢献する高度な専門的能力を有する人材の育成を目指しています。本課程では、次のような人材を求めています。

- 豊富なスポーツ実践活動の経験と有し、科学的な研究成果を実践へと応用することによって、我が国及び諸外国における競技スポーツや武道実践の分野、体育及びスポーツ教育の分野で高度に活躍する意志と能力を持つ人
- 生涯スポーツが国民の健康や幸福に与える価値を認め、我が国及び諸外国のスポーツや身体運動に関する文化、地域政策、医療福祉、健康産業、ビジネスなどの分野で活躍する意志と能力を持つ人
- 国際的な視野と感覚を有し、スポーツや身体運動に関する高い水準の独創的な研究によって、世界的な研究者として活躍する意志と能力を持つ人

## 教育課程の概要

### 修士課程

体育・スポーツ、健康に関する科学的及び実践的な教育研究領域において、特に社会的要請の強い分野を中心とした専門性の高い職業人の養成、研究者の養成及び社会人の再教育を目的とした多様なカリキュラムを編成しています。また、次のような教育目標に沿った教育を効果的に行うため授業科目を共通コア科目及び基礎科目・応用科目に区分して設けています。

- 国民各層の身体活動に対する欲求を把握・分析し、スポーツ医学分野の学際的な研究活動を基盤としてそれらを統合し、生涯を通じた個々の健康水準や生活環境等に応じた適切な生涯スポーツプログラムを攻究するとともに、生涯スポーツ分野における高度な管理・運営能力を有する専門的指導者の養成を図る。
- 各種スポーツ・武道の競技力向上のための技能を分析し、スポーツ科学の学際的な研究活動に基づいたトレーニング理論と方法を攻究するとともに、それらを統合した実践的な指導能力と幅広い応用能力を身に付けた高度の専門的指導者の養成を図る。
- 国民の健康・体力水準の向上と競技力水準の向上に資するため、科学と実践に関する専門的知識を総合的に判断し攻究する、健康・スポーツ科学分野の研究者の養成を図る。



透過型電子顕微鏡

科目群	領域	内容
共通コア科目		高度な学識を授け、スポーツ・健康に関する科学の分野における専門知識・技術の教授研究能力又は高度の専門性を有する職業等に最低限必要な基礎知識能力を養うための科目である。
基礎科目及び応用科目	スポーツ総合科学	体育・スポーツ・武道・健康科学の実践的側面に関する高度な専門知識・研究法を追求する科目である。
	スポーツ文化・社会科学	体育・スポーツ・武道・健康科学の文化的及び社会科学的側面に関する高度な専門知識・研究法を追求する科目である。
	スポーツ生命科学	スポーツ・身体活動への生体応答メカニズムに関する高度な専門知識・研究法を追求する科目である。

### 博士後期課程

大学院体育学科研究科(博士後期課程)においては、共通領域、スポーツ総合科学領域、スポーツ文化・社会科学領域、スポーツ生命科学領域により教育課程を編成しています。また、平成19年4月から独立行政法人日本スポーツ振興センターの国立スポーツ科学センターとの連携大学院を締結し、同センターの特色を生かした論文指導や授業を実施しています。

科目群	領域	内容
専門科目	共通	体育学分野の異なる専門領域の観点から、独創性のある研究テーマを解明するための研究手法、研究方法を学び、研究デザインを確立し、博士學位論文としてまとめるための科目である。
	スポーツ総合科学	体育・スポーツ・武道・健康科学の実践的側面に関する研究方法を深めるとともに、最新の研究動向や知見、研究成果を活用し、学際領域における統合的研究を遂行する上で必要な研究能力を高めるための科目である。
	スポーツ文化・社会科学	体育・スポーツ・武道・健康科学の文化的及び社会科学的側面に関する研究方法を深めるとともに、最新の研究動向や知見、研究成果を活用し、学際領域における統合的研究を遂行する上で必要な研究能力を高めるための科目である。
	スポーツ生命科学	スポーツ・身体活動への生体応答メカニズムに関する研究方法を深めるとともに、最新の研究動向や知見、研究成果を活用し、学際領域における統合的研究を遂行する上で必要な研究能力を高めるための科目である。

トップクラスの  
充実環境。



施設  
Campus and Facilities



① 陸上競技場  
全天候型の400mトラックで競技会ができる3種公認競技場です。



② サッカー場・ラグビー場  
公式競技用としての広さを有し、サッカー場・ラグビー場それぞれ全面芝生張で照明設備も設置されています。



③ テニスコート  
ハードコート、オムニコートがあり、照明設備も設置されています。



④ 野球場  
両翼92m、中堅117mあり、スコアボードは本部席から操作できるように判定表示装置が設置されています。



⑤ トレーニング場  
主に屋外競技用のトレーニング施設で、科学的トレーニングを行うための各種ウエイトトレーニング用機器等が設置されています。



⑥ 球技体育館  
室内競技専用の体育館で、バレーボール(バスケットボール)バドミントン、卓球の専用室があります。



⑦ ゴルフ練習場  
南側の丘陵斜面に設置され、打席数は11、フェアウェイは130m×38mの広さです。



⑧ 屋内実験プール  
泳ぎについて運動力学、運動生理学的見地から科学的に教育研究活動が行えるように最新鋭の設備機器と50m長水路、25m短水路のコースを備えた日本で唯一の実験プールで、水泳、シンクロナイズドスイミング、高飛び込み競技ができ、泳法、泳力等をあらゆる角度から分析研究できる減圧可能な流水プール、データ分析室等を備えています。



⑨ 総合体育館  
総合体育館は各種公式競技に対応できるよう設計されており、主体育館は球技用としてバスケットボール2面、バレーボール2面、テニス2面、ハンドボール2面、バドミントン8面の競技が可能なスペースを確保でき、また、450名収容可能な移動観覧席が2か所に設置されています。その他、体操練習室、ダンス練習室、トレーニング室があります。



⑨ 体操練習室  
体操練習室には、鉄棒、跳馬、あん馬、つり輪、ゆか、平均台、平行棒等の体操競技に必要な器具・設備が設置され、公式競技も可能となっています。



⑩ 武道館  
武道の継承、振興及び競技力の向上を目指す本学武道課程の中心施設で、1階に柔道場と相撲場、2階に剣道場、武道館に隣接して弓道場があります。



⑩ 柔道練習場  
武道館には、公式競技が同時に2面可能な342畳敷の柔道場、さらにサブ道場(136畳敷、ウエイトトレーニング用機器常置)も設置されています。



⑩ 剣道練習場  
武道館には、公式競技が2面可能な剣道場及びサブ剣道場があり、床は松材です。

携帯から  
施設のページに  
アクセス!!

<http://www.nifs-k.ac.jp/outline/facilities/school.html>



### 海洋スポーツセンター

Center for Water Sports and Sciences

海洋スポーツセンターに関する理論教育・実技指導及び研究活動を行うほか、広く海洋スポーツに関する研修会・講習会の開催、課外活動等にも活用し、実践的指導者の養成、競技力の向上及び生涯スポーツとしての底辺拡大を目指しています。

また、海洋スポーツを通じた諸外国の指導者や競技者との国際交流に資することも目的としています。

### スポーツトレーニング教育研究センター

Center for Sports Training Research and Education

高度な測定機器やトレーニング機器を本センターに集中的に配置し、学内共同利用施設として、教員はもとより学部生や大学院生が自由に施設を活用して、トレーニングの研究や実践を行う場を提供しています。また、科学的なトレーニングに関する様々な研究プロジェクトも常時行われています。

たとえば、発育・発達段階に応じた一般児童生徒の体力づくりや、ジュニアアスリートのトレーニングの新たな方法を開発するために、地域の小・中・高等学校と連携して体力測定やそのデータを元にしたトレーニングを長期的な視点で行っています。また、様々なスポーツ種目に携わる国内一流選手を対象とした、科学的なトレーニング方法に関する研究も行っています。これらの研究成果を講習会、学術誌、広報誌、ホームページなどを通じて、学内外に情報発信しています。



## 多彩に広がるスポーツ環境。

## 施設

Facilities

### 国際交流センター

International Exchange and Language Education Center

グローバルに活躍し得る人材養成を目的に、2つのCALLシステムを活用し、外国語教育(英語、フランス語、ドイツ語、中国語、韓国語、留学生対象の日本語)や異文化理解に関する教育研究を行っています。

また、学生や教職員の外国語の学習・研究のための利用や大学間交流協定校からの学生の受け入れ及び本学学生の派遣等国際交流事業を推進するとともに、地域住民への公開講座なども開講しています。



■LL2教室(アスリート支援語学学習システム・56ブース)

### スポーツ情報センター

Information Technology Center for Sports Sciences

情報通信技術を用いた教育と研究を支援するとともに、情報の発信を通じて体育・スポーツの進展に寄与することを目的としています。

各種のネットワークサービスをはじめ、三次元動作分析装置や高速度カメラなどスポーツ科学の実験設備を利用者に提供しています。情報処理演習室は平日22時まで開室しており、研究情報の収集やレポート作成など、連日多くの学生に利用されています。



光学式3次元モーションキャプチャ

### 生涯スポーツ実践センター

Interdisciplinary Research Center for Lifelong Sport and Physical Activity

生涯スポーツに関する実践指導と学際的な研究・教育を広く社会との連携を図りながら行うことを目的としています。

主に、人々の各ライフステージに応じた運動・スポーツプログラムの開発・指導、地域のスポーツ振興や健康づくり、地域スポーツプログラムの育成支援、生涯スポーツ指導者の育成支援、運動・スポーツプログラムの地域社会への効果の測定などに関する教育研究を行っています。



### 附属図書館

Library

附属図書館では、教育研究活動に必要な専門図書や一般教養図書のほか、体育・スポーツ、レクリエーションや武道分野の雑誌や新聞、視聴覚資料も数多く所蔵しています。館内には、利用者用パソコンを設置し、電子図書館的な機能も充実しており、体育・スポーツ分野のデータベースや電子ジャーナル等が利用できます。 ■附属図書館ホームページ<http://www.lib.nifs-k.ac.jp/>



## 過去、現在、そして未来。

時代が激しく動く。時が速く駆ける。

その中で見極めたいのは、「我々には何が必要なのか」

今、求められるのは、「クリエイトする力」「クリエイトする心」

新たなる歴史を創り、夢を実現し、新世紀を生き抜く。

そこには、いつもキミたちがいるはずだ。

だから今、キミたちへメッセージを送りたい。

ここに集う、アクティブクリエイターたちから。

# Message of Spirit

Messages from students

## 在学生からのメッセージ

### 今、ここでしか出来ないことを精一杯やり遂げたい

私は高校3年生の時に目標としていた日本一になることが出来ず、大学でもう一度日本一を狙いたいと思い、鹿屋体育大学に進学を決めました。鹿屋体育大学は、日本で唯一の国立の体育大学で、体育館やトレーニング場など競技力を上げるには、最高の施設・設備が整っています。更に教員免許を取得することができます。この素晴らしい環境の中で毎日練習に取り組むことができ、私が入学して一年目の全日本バレーボール大学女子選手権大会で優勝し、日本一になることが出来ました。その後、様々な選抜等に招集してもらい、合宿をしたり試合に出場するなど、とても貴重な経験をたくさんすることが出来ました。その中で、私は日本国内だけでなく世界にも少し目を向けるようになりました。他の部活動では、世界のトップレベルで戦っている人も多く、意識の高い集団の中で生活をするのが自分にとって良い刺激になっています。

残りの1年間で、今、ここでしか出来ないことを精一杯やり遂げたいと思います。同じ目標を持った仲間と一緒に日本一を目指し、個人的にはユニバーシアードなどの世界大会の代表選手になって活躍し、トップレベルで戦うことで視野をひろげていきたいと思っています。



#### 中大路 絢野

Nakaoji Ayano  
スポーツ総合課程4年  
平成22年度 AO(SS) 入試  
京都橋高校出身  
バレー部所属  
2011 全日本女子チームメンバー



#### 古賀 ちなつ

Koga Chinatsu  
武道課程4年  
平成22年度 推薦入試  
鹿児島南高校出身  
柔道部所属

### 高校生の頃からの目標、「鹿児島から日本一」

私が鹿屋に来てから3年が経ちました。鹿屋体育大学に入学しようと思ったのは、高校生の頃からの目標、「鹿児島から日本一」を達成したかったからです。鹿屋体育大学は、国立大学で唯一武道課程が置かれている大学です。平成24年度から中学・高校では武道が必修科目となり、柔道をはじめ、武道の大切さが見直されました。柔道の技術・知識をより深く学ぶことができ、人格形成を目指すことができるこの大学で日本一を目指そうと思いました。

整った練習環境で毎日稽古に励み、一昨年は団体全国3位、そして昨年は鹿屋で初の団体全国優勝をすることができ、私の目標であった日本一になることができました。着実にステップアップ出来たのにも指導して下さる先生、毎日一緒に稽古に励む仲間にも恵まれ、そしてしっかりと柔道に集中できる環境だったからだと思います。残り1年間、もう一度団体日本一を目指し、個人的にも全国で成績を残せるよう頑張りたいと思います。是非、一緒に鹿屋の地で目標に向かって一緒に頑張りましょう。



### この環境・・・全国でも鹿屋しかない!!

私が鹿屋に来てからはや三年が経ちました。高校三年の秋ごろ、スポーツに関わる仕事に就きたいと考えていた私は、全国で唯一の国立の体育系単科大学で、優秀な先生方と、高性能の最新機器が数多く揃う鹿屋体育大学を知りました。小学一年から続けてきた野球も手入れの行き届いたグラウンドで練習できると聞いていたので、これは行くしかないと思わず決めました。ぼんやりとした目標で入学しましたが、全国各地から来た学生、充実した設備、大自然の中で好きなことに打ち込めること、また親元から離れ一人暮らしをするといった環境により、少しずつではありますが人間的にも成長できていると実感しています。これらの環境は唯一無二ではないでしょうか。長い人生を考えたらたかが四年、されど四年であります。スポーツが好きで、進路に迷っている人は鹿屋体育大学をお勧めします。自分の頑張りによって素晴らしい大学生活になると思います。一緒に頑張りましょう。



石黒 公二郎

Ishiguro Kojiro  
スポーツ総合課程4年  
平成22年度 一般入試  
松蔭高校出身  
硬式野球部所属

Messages from students

## 在学生からのメッセージ



福井 響

Fukui Hibiki  
スポーツ総合課程3年  
平成23年度 一般入試  
大阪府立池田高等学校出身  
自転車競技部所属

### 新鮮さと、夢。

「鹿屋に行く。」こう言う私に驚きの表情を見せたのは両親でした。またそれは友人、そして先生に波及していったのを今でも鮮明に覚えています。高校3年生にあがるときには既に鹿屋体大1本で受験をすると決めていました。大阪で暮らす普通の高校生が何故そこまで鹿屋にこだわるのか。今思い返すと私は大学の新鮮さに惹かれていたのだと思います。

高校3年の夏、大学を見学するため大阪から遠々鹿屋に足を運びました。私は高校の時から自転車競技をしていましたので、足早に向かった先はもちろん自転車競技部のもと。不安な顔の私に笑顔で出迎えて下さったのは、監督の黒川先生をはじめ数々の偉大な先輩方でした。鹿屋の澄んだ空気の中で夢を追う先輩方の姿を見て、私もこの地のこの空気の中で夢を追うと心に決めました。

それから3年経った今、私は依然、夢を追いかけています。自転車に乗る側である選手から、自転車を整備するメカニックに転向したのもまた、夢を追いかけるため。私の夢は自転車ショップの経営。この大学には夢を追うための自由が全て揃っています。3年前に感じていたこの大学の新鮮さとはこういうところで発揮されているのだと、私は今改めて感じています。



### 選手として、指導者として、人として大きく成長したい

私が鹿屋体育大学を選んだ理由は、この大学では教員免許を取得でき、体育・スポーツについて専門的に学ぶことができるからです。それだけでなく、この大学はグラウンドや体育施設がとても充実していて、サッカーの技術を向上させるために必要な環境が整っているところや、周りに海や山などの自然がいっぱいで、温泉もたくさんあって疲れた日には心身ともに癒されるところにも魅かれました。

小学生の頃からサッカーをしていたので、大学に入ってから続けてもっと上手くなろうとサッカー部に入りました。大学に入るまでは味わえなかった天然芝で、全国の高校から来た部員たちとお互いが向上できるように日々努力をしています。またサッカー部では部員がプレーする側だけでなく、子どもたちの指導をする側としても働いています。私はそれを知り、ジュニア指導にも興味があったので、1年生の9月頃から小学校低学年のコーチとして働くことになりました。

最初の頃はどんな指導をすればいいのか、どんなふうに子どもたちと関わればいいのかも全然分かりませんでしたし、子どもたちに楽しくサッカーをさせてあげることができていなかったと思います。でも指導を続けていく中で、子どもたちの反応を見たり、先輩や先生にアドバイスをもらったりしているとだんだん子どもたちがサッカーを楽しめるような指導ができるようになってきたと思います。子どもたちを育てる側でありながら、自分も子どもたちに育てられているんだと感じました。

私は子どもたちがサッカーを通して、体を動かすことを楽しめるように、またいろいろなスポーツが好きになれるようにこれからもサポートしていきたいです。私は鹿屋体育大学でいつでも学ぶ姿勢と努力することを忘れないで、この大学で良かったと思えるくらい、選手として、指導者として、人として大きく成長したいです。

北村 暢治

Kitamura Nobuharu

スポーツ総合課程3年  
平成23年度 一般入試  
南陽高等学校出身  
サッカー部所属



### よりスポーツに関する知識を学びたいと思える

私は横浜の専門学校から第3年次編入学で入学しました。

将来はチームトレーナーを目指しています。そのために、遠く離れた横浜から、日本でも名高い研究施設や機器がある鹿屋体育大学に入学しようと決意しました。私はそれらの研究施設を用いた、バイオメカニクスのゼミナルに入っています。難しい分野ではありますが、先生方から教えて頂き、よりスポーツに関する知識を学びたいと思えるようになりました。

現在は、アスレティックトレーナー部に所属し、勉強会を行いつつ、現場では野球部のトレーナー活動をしています。鹿屋体育大学では、積極的に学ぶことに挑戦するとそれだけ知識になり、いつかそれが将来につながると思います。皆さんも一緒にポジティブトライしましょう!



土川 千尋

Tsuchikawa Chihiro

スポーツ総合課程3年  
平成25年度 第3年次編入学  
神奈川県立松陽高校卒

### 少しでも速くなりたい

入学した当初は、私自身オリンピックに出場できるとは思っていませんでした。ただ、少しでも速くなりたい、という気持ちを強く持ち、毎日の練習に取り組んでいたところ、階段を1歩ずつ上るように徐々にオリンピックが目標になり、金メダルを獲得することが出来ました。今思えば、1日1日の練習の積み重ねがなければ、オリンピック出場は叶わなかったでしょう。また、素晴らしい先生や共に練習する仲間との出会いがあったから毎日の練習に耐えられ、毎日を積み重ねることができたのだと思っています。

学生の皆さんも、1日1日を大切にしてください。そして仲間と一緒に目の前の目標に向かって1歩ずつ歩み、強い意思を持って頑張ってください。皆さんのご活躍をお祈りいたします。



アテネオリンピック 競泳女子800m自由形金メダリスト

### 柴田 亜衣

Shibata Ai

平成17年3月 体育学部 体育・スポーツ課程卒業  
平成21年3月 大学院 体育学研究科修士課程修了  
平成23年4月 鹿屋体育大学 広報アドバイザー  
平成23年4月 株式会社プラミン所属

柴田亜衣オフィシャルサイト <http://www.plumin.jp/aishibata/>

## 卒業生からのメッセージ

### Messages from graduates



### 学生それぞれの夢を 本気で追求するための場所!

野球のグラブ職人になりたい。それが私の幼い頃からの夢でした。その夢を叶えるために野球のことをさらに知りたいと思い、遠い北海道から鹿屋体育大学への入学を決めました。

在学中は野球部に所属し、選手として技能を高めながら、心理学やバイオメカニクスなど様々な角度から野球を科学的に見つめる良い機会となりました。(また、大学以外の活動では国際交流協会に所属し、外国人と交流できるイベントを企画したり、アルバイトを4つ掛け持ちしたりもして自分の幅を広げていきました。)

そして厳しい就職活動の結果、希望していた(株)アシックスに入社することができ、今は、これからグラブの開発生産ができることを心から楽しみにしています。

鹿屋体育大学には学生それぞれの夢を本気で追求するための環境が整っています。鹿屋が辺鄙で田舎だということは、夢を掴むことに比べたらとるに足りません。

ぜひ夢を熱く語る仲間と充実した体大生活を過ごしてください。本気なら、鹿屋体育大学です。

株式会社アシックス ベースボール事業部

### 尾石 誠太

Oishi Seita

平成24年3月  
体育学部 スポーツ総合課程卒業

### 第一期入学生として

まだ「昭和」の時代だった、1984年に我々が第一期生として入学し、およそ30年の月日が経とうとしています。我々の入学当時は、現在は世界に誇れる素晴らしい施設も3分の1しか完成されておらず、グラウンドは石ころだらけという状況に愕然としたことが昨日のこのように思い出されます。広大なキャンパスの中で、当時150名しかいなかった我々は、先輩という存在がいなかったこともあり「先輩たちへ残せる良い伝統の礎を築こう。」と何となく意識し合ったものでした。

今も、30年経ってもキャンパス内で大きな声で誰にでも「コンニチハ!」と挨拶する「伝統」は生きていることでしょう。残念ですが、私自身も都会での生活が長くなるともう見知らぬ人に挨拶が出来ない自分がいたりします。「挨拶ごとき」と思わずに、これから入学する皆さんも、卒業後も社会に役立つ鹿屋体育大学の良き伝統として永遠に続けていって欲しいことだと願っています。鹿屋は地理的な部分などでは決して恵まれているとはいえない環境としては苦勞するかもしれませんが、変な都会にいるよりは何事にも集中できる環境だともいえます。五輪の金メダリストをも輩出し、全国でいや世界で活躍する人材が育つこの大学をもう「しかや」と呼ぶ人はいないと思います。スポーツに打ち込める素晴らしい「鹿屋体育大学」で自分を大きく磨いて頂きたいと思います。



(株)TBSテレビ勤務

### 宮本 和幸

Miyamoto Kazuyuki

第一期卒業生



長崎県立鹿町工業高校 保健体育教員

### 宮崎 杏菜

Miyazaki Anna

平成20年3月  
体育学部 体育・スポーツ課程卒業

### いつも輝いている自分で。 その基盤をつくってくれたのはこの大学です!

私は自転車競技をするために大分県の別府商業高校から鹿屋体育大学に進学しました。私にとって、大学での4年間はとても貴重な時間でした。競技レベルの高い仲間との出会いや競技力向上に関する勉強ができる大学に入学できて本当によかったと思っています。競技面では勝つことだけでなく、周囲の人に支えられていることに気づき感謝すること、そしてその気持ちを伝える方法を考え、行動に移すことの大切さも学ぶことが出来ました。また、専門種目が違う競技者・トレーナー・指導者を目指している友人もでき、互いに高めあいながら過ごすことができたことで、とても視野が広くなり刺激になりました。現在私は長崎県の公立高校で体育教員をしています。大学で培った経験をこれからもしっかりと高校生に伝えていきたいと思っています。

### 多くの素晴らしい先生や先輩、 仲間に恵まれ、充実した6年間

大学入学当時はわからないことばかりで、不安でいっぱいでした。しかし、部活動やゼミなどを通じて、多くの素晴らしい先生や先輩、仲間に恵まれ、大学院修士課程までの6年間の大学生活は大変充実したものとなりました。鹿屋体育大学では、様々なことを学ぶことができ、本当に素晴らしい仲間に出会えることができました。私はそのような環境で大学生活を過ごしたことで、多くの刺激を受け、様々なことに興味を持つようになりました。

中でも、多くの時間を過ごしたアスレティックトレーナー部と運動生理学のゼミでの活動で特に刺激を受け、大学卒業時には「健康運動指導士」の資格を取得し、「健康づくり」に関わる仕事に就きたいと思うようになりました。私はその夢を実現し、現在株式会社オージースポーツで働き、フィットネスクラブの現場で運動指導を行っています。仕事の中でも、大学で学んだことが基礎となり、大いに役立っています。受験生の皆さん、鹿屋体育大学は多くの可能性がある場所です。頑張ってください。



株式会社オージースポーツ コスバ藤井寺健康運動指導士

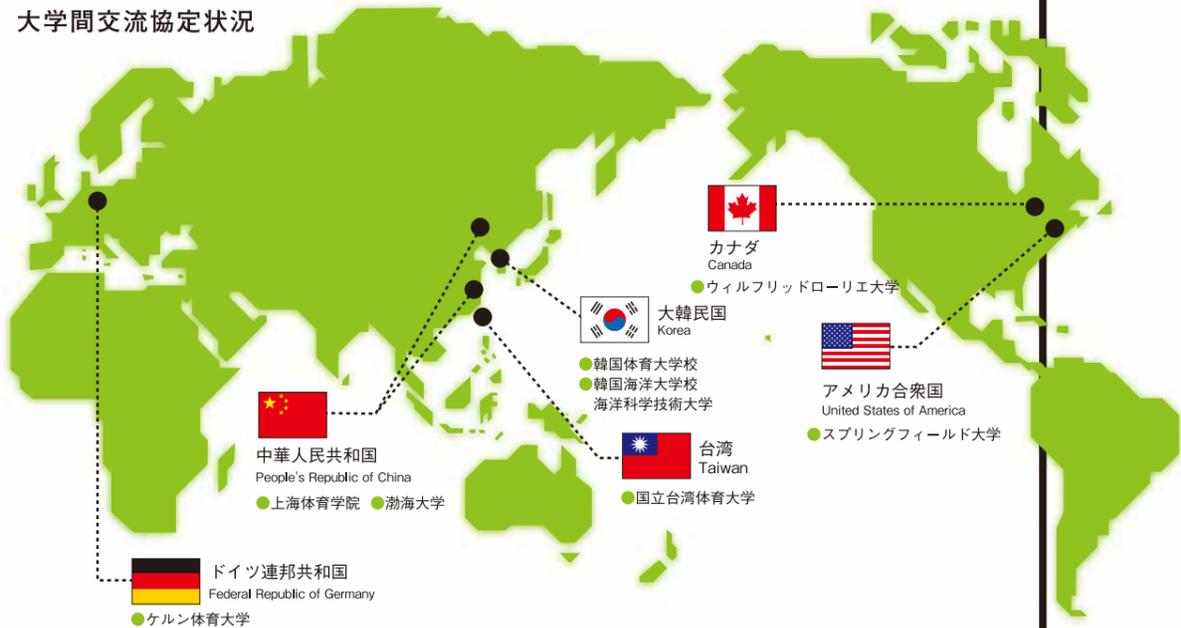
### 小澤 源太郎

Ozawa Gentarō

平成21年3月 体育学部 スポーツ総合課程卒業  
平成23年3月 大学院 体育学研究科修士課程修了

国際交流

International Exchange Program



友情の絆は、世界へ結ばれている。

上海体育学院(中国)、韓国体育大学校(韓国)、国立体育大学(台湾)及びウィルフリッドローリエ大学(カナダ)と学生交流(交換留学)を行っています。交換留学生は、学内で選考し、期間及び派遣学生数は、一大学につき1年以内2名以内です。留学先で修得した授業科目等の単位は、できる限り本学で取得した授業科目として認定する単位互換を行っています。

外国人留学生在籍状況 (平成25年5月1日現在) 単位:人

国・地域	学部	大学院(修士課程)	大学院(博士後期課程)	特別聴講学生	計
中国	4		1	1	6
韓国				2	2
台湾				2	2
計	4		1	5	10



日本語補講の授業風景(学生交流学習室)

留学生支援制度(短期派遣)

この制度は、独立行政法人日本学生支援機構から奨学金を受けて大学間交流協定を締結している外国の大学に留学させることにより、諸外国の大学との留学生交流の一層の拡充を図り、相互の教育・研究水準の向上に資するとともに、各国間の相互理解と友好親善を推進することを目的としています。

夢のような体験、貴重な体験

上海体育学院で面接してから日本に来るまでの期間は、夢のようだというより、むしろ夢が現実になったというほうが正しいです。上海体育学院に入学したばかりのとき、上海体育学院と日本の鹿屋体育大学との間で交換留学生という制度があると聞きました。その時から、ぜひ日本で勉強したいと思って、日本語を勉強し始めました。そして、大学三年生のとき、自分も交換留学生として鹿屋体育大学に来て、やっと夢を叶えることができました。

私は2012年10月に鹿屋に来ました。来たばかりの時は、日本語があまり分からなかったのも、みんなとの交流がなかなかうまくできなかったり、初めての外国での生活だったりと、寂しい思いをしました。しかし、嬉しかったことは、日本語の勉強から日常生活の指導まで、鹿屋体育大学の先生やクラスメートなどからいろいろなことを助けて頂いたことです。そして、私の留学生活が次第に賑やかになりました。

時間が経つのは早く、もう留学生活が半年終わってしまいました。この半年の間、大学で皆さんの知識を覚えただけではなく、さまざまな日本の文化も体験でき、日本の魅力をより深く感じ



左側

黄 煌

特別聴講学生  
出身国:中国(上海体育学院から留学)

ることができ、鹿屋での生活がだんだん好きになっていきました。それと共に、日中両国の文化の違いも経験しましたが、徐々に慣れることができ、日本の文化を更に深く理解したいという好奇心が生まれました。

これから、交換留学の生活はあと半年しかありませんが、短い時間を大切に、日本語の勉強と異文化体験などを楽しみながら生活していきたいと思っています。鹿屋体育大学の関係者皆様はすばらしくて、忘れられない留学を体験させていただき、誠にありがとうございました。

国際交流体験

人との関わり方について悩み、成長できた



松田 雅直

右から2番目

スポーツ総合課程4年  
留学先大学:上海体育学院(中国)  
留学期間:1年

私が中国に留学したのは、中国人留学生と話をしたのがきっかけでした。話をしてみると、私の中国人像はニュースから作られたもので、自分は本当の中国人を知らないのだと気が付きました。そこで、「自分の目で実際の中国・中国人を見たい」と留学を決意しました。留学先では、入国審査のときに言葉が分からず、痛い目に遭いましたが、おかげで中国語学習に対するモチベーションが上がりました。毎日文法の勉強と音読を欠かさずやり、中国人とも積極的にコミュニケーションを取りました。

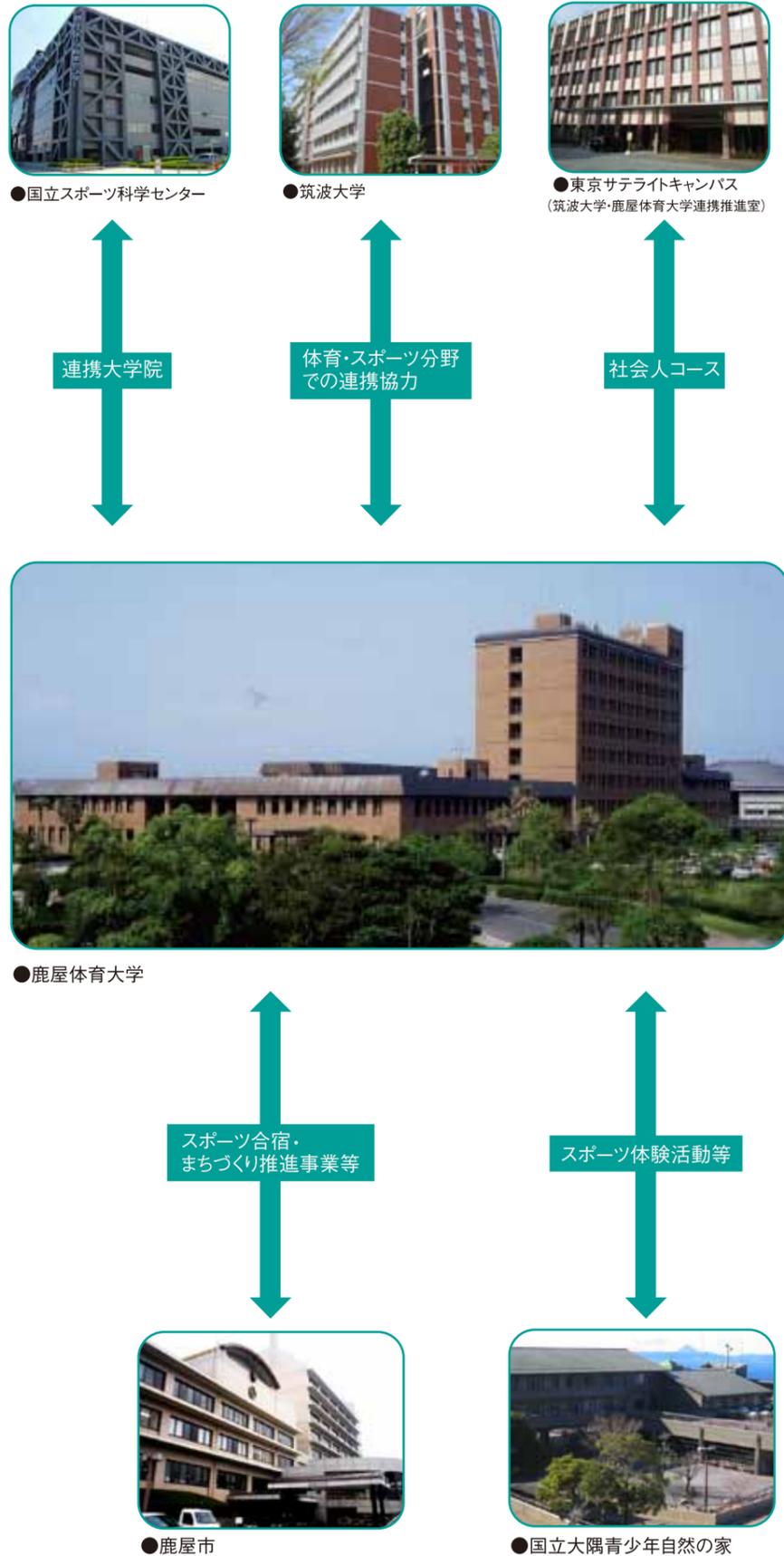
また、夏休みには一人でバックパックを背負って40日間の旅に出ました。行先は四川省、新疆ウイグル自治区です。旅の計画は本やインターネット、知人から話を聞くなど、全て自分で調べました。計画の時点で相当なエネルギーを使いましたが、だからこそ全ての行動に主体性を持って旅行ができたと感じています。旅先では、モンゴル族やハサカ族など、上海では出会わない民族の方の家に泊まることもあり、水がちよろちよろしか出ない水道、ただ穴を掘っただけのトイレ。食事では、馬のミルクを発酵させて作ったお酒や、ヤギを丸ごと解体して様々な調理法によって余すことなく食べるなど、珍しい体験もできました。また、大自然の中でテント泊も、自然の美しさも存分に感じられました。

昨年は、いろいろな国際問題もありつらい経験もりましたが、それによって人との関わり方について悩み、成長できたのではないかと感じています。このように、留学生活は、語学・異文化交流・体験にとどまらず、自身の成長という観点からも充実した一年間にできました。今回の留学で私と関わった友人、先生方に感謝致します。

留学生からのメッセージ

Messages From Foreign Students

# 連携ネットワーク



# Campus Life

アクティブ・クリエイターの  
ライフ・バックランド。

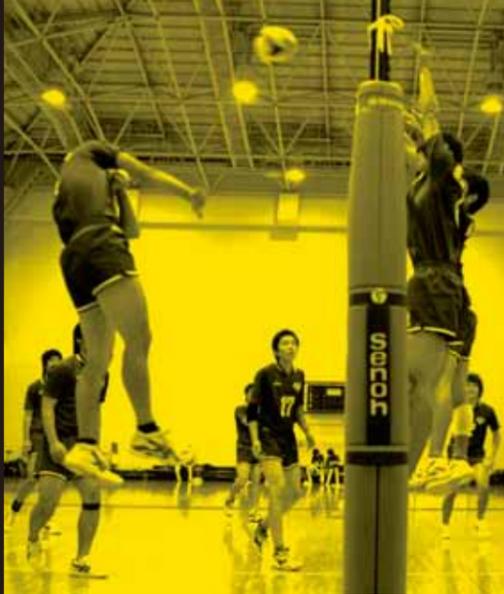
ここでは、大自然に囲まれて、豊かなスポーツスピリットが育まれています。  
春は新緑が萌え、夏は南国の陽光が降り注ぐトロピカルな気候のもと  
秋はとても元気な台風が来るし、冬は桜島の火山灰だって降る。  
大自然の計り知れない懐に抱かれ、トレーニングする充実感。  
心地いい疲れを癒してくれるのは、大隅の温暖な気候。  
ここで成長し、遅く実を結ぼう、大きな夢を実現させるために。

- 4月
  - ・新入生オリエンテーション
  - ・入学式
  - ・新入生歓迎会
  - ・前期授業開始
- 5月
  - ・競技力向上週間
- 6月
- 7月
  - ・前期期末試験
- 8月
  - ・夏期休業(8月1日～)
- 9月
- 10月
  - ・開学記念日(10月1日)
  - ・後期授業開始
  - ・蒼天祭
- 11月
- 12月
  - ・冬期休業(12月26日～)
- 1月
- 2月
  - ・後期期末試験
- 3月
  - ・春期休業(3月11日～)
  - ・卒業式・学位記授与式

## 年間行事

Yearly Events

# 打ち込めること、ひとつ。サークル活動



本学には、現在、22のサークルと3つの研究会があり、ほとんどの学生が加入しています。  
特に、多くの体育系サークルでは、全国規模の大会で優秀な成績を収めるなど、活発な活動を展開しています。  
サークル活動は、学生が自主的に行う活動であり、社会の一員として必要な資質を身に付けたり、教養を高めるなどの大切な役割を担っています。  
また、サークル活動を通じて得られるさまざまな体験は、学生生活をより充実させ、一生忘れることのできないすばらしい思い出にもなります。  
したがって、学生が各自の関心と適性にあったサークルに所属し、より高い専門的知識や技能を身に付けるために積極的に活動することをお勧めします。

Extra-curricular Activities



陸上競技部 (79)	柔道部 (61)
硬式野球部 (42)	剣道部 (122)
テニス部 (21)	ヨット部 (12)
男子バレーボール部 (12)	漕艇部 (4)
女子バレーボール部 (24)	自転車競技部 (28)
男子バスケットボール部 (39)	カヌー部 (30)
女子バスケットボール部 (31)	なぎなた部 (9)
サッカー部 (87)	セパタクロー部 (5)
ラグビー部 (6)	ウインドサーフィン部 (6)
体操競技部 (20)	アスレティックトレーナー部 (11)
水泳部 (42)	ゴルフ部 (3)

研究	伝統文化・スポーツ研究会 (3)
会	グローバル研究会 (9)
	Strength & Conditioning 研究会 (10)

## 主な競技成績 (平成24年度)

### 陸上競技

- 第96回日本陸上競技選手権大会  
【男子】砲丸投 7位
- 天皇賜盃 第81回日本学生陸上競技対校選手権大会  
【男子】1500m 5位  
【男子】砲丸投 2位
- 2012日本学生陸上競技個人選手権大会  
【男子】走り高跳び 5位  
【男子】やり投げ 7位  
【男子】10000mW 8位  
【女子】5000m 1位  
【女子】5000m 8位  
【女子】ハンマー投げ 8位
- 第15回アジアジュニア陸上競技選手権  
【男子】走高跳 決勝進出

### 硬式野球

- 2012年度鹿児島県大学野球春季リーグ戦 3位

### テニス

- 国民体育大会  
【成年女子】ベスト16
- 平成24年度全日本学生テニス選手権大会  
【男子】シングルス 出場  
【男子】ダブルス ベスト32  
【女子】ダブルス 出場
- 平成24年度九州学生室内テニス選手権大会  
【男子】ダブルス 優勝  
【男子】シングルス 準優勝  
【女子】ダブルス 準優勝  
【女子】シングルス 準優勝
- 九州学生春季テニス選手権  
【男子】シングルス 優勝  
【男子】ダブルス 優勝

### 女子バレーボール

- 第38回西日本バレーボール大学女子選手権大会 優勝(5連覇)
- 九州地区体育大会 優勝
- 全日本大学女子バレーボール東西選抜優勝大会 優勝
- 平成24年度九州大学春・秋季バレーボール女子リーグ 優勝(6連続)
- 平成24年度天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会ファイナルラウンド ベスト8

### 男子バレーボール部(ビーチバレーチーム)

- ビーチバレー・ジャパン・カレッジ2012第24回全日本ビーチバレー大学男女選手権大会 【男子ペア】 3位

### 男子バスケットボール

- 第19回全九州大学バスケットボールリーグ戦 3位
- 福岡県近県学生バスケットボール大会 準優勝

### 女子バスケットボール

- 第17回全九州大学春季バスケットボール選手権大会 優勝
- 女子第61回西日本学生バスケットボール選手権大会 ベスト8
- 第19回全九州大学バスケットボールリーグ戦 2位
- 平成24年度第64回全九州総合バスケットボール選手権大会 優勝
- 第88回天皇杯・第79回皇后杯全日本総合バスケットボール選手権大会 ベスト32

### サッカー

- 全日本大学サッカー選手権大会 3位

### 体操競技

- 第66回全日本学生体操競技選手権大会  
【男子】団体総合9位  
【男子】平行棒8位
- 第62回西日本学生体操選手権大会  
【男子】団体総合4位
- 第5回アジアシニア体操競技選手権大会  
【男子】団体総合2位  
【男子】個人総合7位

### 水泳

- 第88回(2012年度)日本選手権水泳競技大会  
【男子】1500m自由形1位、400m自由形3位
- ジャパンオープン2012  
【男子】1500m自由形3位
- 第88回日本学生選手権水泳競技大会  
【男子】400m自由形1位、1500m自由形3位  
【女子】200m自由形1位、100m平泳ぎ3位、200m平泳ぎ2位、400mフリーリレー1位、800mフリーリレー1位、団体総合1位
- 第11回世界短水路水泳選手権(2012)  
【女子】200mバタフライ7位
- 第54回(2012年度)日本選手権(短水路)水泳競技大会  
【女子】200m3位

### 柔道

- ロシアジュニア国際大会 66kg級優勝
- ドイツジュニア国際大会 66kg級優勝
- アジアジュニア・ユース選手権大会 66kg級優勝
- ベルギー国際大会 66kg級優勝
- 全国体育系学生柔道体重別選手権大会  
60kg級優勝 81kg級優勝 60kg級3位 66kg級3位
- 全日本学生柔道体重別選手権大会 60kg級5位
- 九州学生柔道優勝大会 準優勝
- 【女子】  
○全日本学生柔道優勝大会 女子団体(3人制)優勝  
○全日本学生柔道体重別選手権大会 48kg級3位 78kg超級5位  
○九州学生柔道優勝大会 優勝(二連覇)

### 剣道

- 【男子】  
○第57回西日本学生剣道大会 団体優勝  
○第59回全九州学生剣道大会 団体優勝  
○第60回全日本学生剣道選手権大会 個人準優勝  
○第60回全日本学生剣道優勝大会 団体3位
- 【女子】  
○第27回西日本女子学生剣道大会 団体優勝  
○第35回全九州女子学生剣道大会 団体優勝  
○第31回全日本女子学生剣道優勝大会 団体優勝

### ヨット

- 2012年度全日本学生ヨット個人選手権大会 スナイプ級 6位
- 2012年度全日本学生シングルハンドレガッタ 個人1位
- 全日本学生女子ヨット選手権大会 470級 6位
- 2012年度西日本学生ヨット選手権大会 団体1位

### ウインドサーフィン

- 33th 天草四郎カップ  
【男子】ビギナークラス優勝  
【女子】テクノ293クラス優勝
- 2012年度全日本学生ボードセイリング選手権 九州支部予選  
【女子】クラス2位
- 2012年度全九州学生ボードセイリング新人戦  
【男子】優勝
- 全九州ボードセイリング選手権福岡大会 3位

### 漕艇部

- 第65回朝日レガッタ  
【女子】成年女子シングルスカル 5位

### 自転車競技

- 第30回ロンドンオリンピック競技大会(イギリス・ロンドン)  
【女子】スプリント 1/16決勝敗退
- 2012年世界自転車競技選手権大会トラックレース(オーストラリア・メルボルン)  
【女子】スプリント 22位(予選:日本新)、チームスプリント14位(予選:日本新) 3km団体追抜12位(予選:日本新)
- 2012-2011トラック・ワールドカップ 第1戦(コロンビア・カリ)  
【女子】スプリント7位、チームスプリント2位(日本新)
- 第33回アジア自転車競技選手権大会(インド・ニューデリー)  
【男子】4km団体追抜2位(予選共に日本新)、ポイントレース(30km)5位 U23個人ロードTT(28.4km)4位、U23個人ロードレース(142km)5位  
【女子】4km団体追抜2位(予選共に日本新)、3km個人追抜2位(予選:大会新) ポイントレース(20km)2位、オムニアム3位、個人ロードTT(28.4km)2位
- 第15回全日本自転車競技選手権大会トラックレース  
【男子】4km個人追抜1位(予選:日本新)  
【女子】スプリント1位、500mTT1位・3位、3km個人追抜1位・2位
- 第81回全日本アマチュア自転車競技選手権大会トラックレース  
【男子】ケイリン1位、オムニアム1位、4km個人追抜1位、ポイントレース(30km)2位、スプリント3位  
【女子】3km個人追抜1位・3位、ポイントレース(16km)2位
- 文部科学大臣杯第68回全日本大学対抗選手権自転車競技大会  
【男子】学校対抗総合準優勝、4km団体追抜1位(日本学生新)、4km個人追抜1位、1kmTT3位、個人ロードレース(162km)3位  
【女子】学校対抗総合優勝(9連覇)、チームスプリント1位、スプリント1位・2位、500mTT1位・2位、3km個人追抜1位・2位、ポイントレース(20km)1位・2位、個人ロードレース(72km)1位・3位
- 第53回全日本学生選手権トラック自転車競技大会  
【男子】4km個人追抜1位、スプリント2位  
【女子】スプリント1位、500mTT1位・3位、3km個人追抜1位・2位、ポイントレース(20km)1位
- 第28回全日本学生選手権個人ロードレース大会  
【女子】個人ロードレース(100km)1位・2位
- 第14回全日本学生選手権クリテリウム大会  
【男子】クリテリウム(42km)2位  
【女子】クリテリウム(23km)1位・2位・3位

### カヌー

- 第48回全日本学生カヌー選手権大会  
【男子】K-1 1000m2位、C-1 1000m3位、C-1 5000m2位、K-2 1000m2位、C-2 1000m3位、K-1 5000m2位、K-2 5000m2位、C-2 5000m3位、K-1 Relay 4×500m、2位、C-1 Relay 4×500m1位、C-4 1000m1位、男子カヤック部門2位、男子カナディアン部門2位、男子総合2位
- 平成24年度日本カヌースプリント選手権大会  
【男子】C-1 1000m3位、K-4 1000m2位、C-2 1000m2位・3位、C-4 1000m2位、K-4 500m2位、C-1 500m2位、C-2 500m2位、C-4 500m1位・2位、K-1 200m4位、K-2 200m3位、K-4 200m2位、C-2 200m3位、C-4 200m2位・3位  
【女子】WK-2 200m1位、WC-1 200m3位
- 世界大学カヌースプリント選手権大会  
【男子】K出場、C出場 【女子】WK出場
- 2012カヌースプリント ワールドカップ 第2戦  
【男子】K-1 1000m出場(準決9位)、C-1 1000m出場(準決4位)、C-2 1000m出場(B決7位)、C-1 500m出場(B決5位)、K-2 500m出場(準決8位)、C-2 500m出場(準決8位)、C-2 200m出場(準決9位)

### なぎなた

- 第51回全日本学生なぎなた選手権大会  
【女子】団体の部2位、演技ベスト8、個人ベスト8

### ゴルフ

- LDAA LONGDRIVE アジアNo.1決定戦 グループリーグ敗退
- 鹿児島県大学ゴルフ選手権大会 4位

注( )は平成24年5月1日現在の部員(会員)の数

# 充実の環境が、 キャンパスライフを サポートする。



学生ラウンジ



ロッカー室

学生・教職員の福利厚生増進のため、大学会館が設置されており、食堂、喫茶、売店、理・美容室などがあります。学生の憩いの場として「学生ラウンジ」を設け、学生相互のコミュニケーション等に利用されています。

また、学生・教職員の健康の保持・増進を図るための施設として、「保健管理センター」があり、健康等に関する助言・指導や、傷害に対する救急処置等を行っています。

課外活動、本学主催の講習会・研修会・スポーツ交流会等に利用できるように、宿泊室や研修室等を備えた「合宿研修所」が設置されており、最大で113名が宿泊できます。



ギャラリー・喫茶



理・美容室



保健管理センター



売店

学生食堂(朝食バイキング)



学生宿舎は、構内ライフゾーンの一角に位置し、1棟70名収容の建物が5棟設けられています。部屋はすべて個室(6畳間)で、収容人員は350名(男子280名、女子70名)、現在、在学生全体の約4割の学生が入居しています。

棟内は、居室のほか、各階に共用施設として補食談話室、洗面・洗濯室、浴室、トイレ等があります。寄宿料等は、1カ月当たり12,800円(寄宿料4,300円、運営費等8,500円)です。規則正しい生活を送れるように、学部1年生から3年生については学生食堂での朝食摂取を入居の条件としています。朝食代:年額67,200円(平成25年度実績)、年度当初に全納(欠食の場合は返金)

## 学生宿舎

Student Dormitories

名称	1居室面積・構造	居室数(個室)	備考
A棟	6畳間・鉄筋5階	70	男子
B棟	〃	70	男子
C棟	〃	70	女子
D棟	〃	70	男子
E棟	〃	70	男子



○管理運営  
管理運営業務は、学生課が担当し、宿舎敷地内の共用棟に管理人を置いています。なお、入居者が自主的に規律ある共同生活を行うため、自治組織として「学生宿舎会」が設けられています。

○入居者の選考方法  
入居者の選考は、所定の規則に基づき、宿舎生活に支障がないこと、自宅からの通学距離が30km以上であること、経済に困窮度が高いこと、入居後の生活態度等を勘案して行います。抽選や、先着などではありません。

○設備  
寝具類はリースしていますので、準備する必要はありません。各階に洗濯機・乾燥機が設置しており、無料で利用できます。インターネットは、個人毎に契約して居室で利用できます。

○自動車等  
駐車場及び駐輪場を設置しています。駐車場の使用は無料ですが、許可が必要です。なお、新入生は、1年間は自動車の持ち込みはできません。



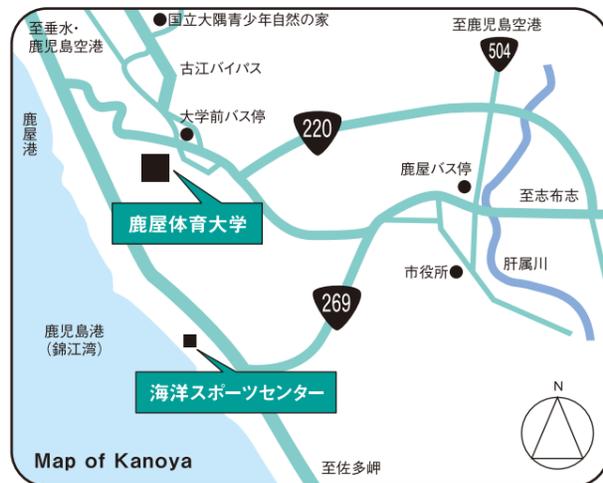
大学周辺には、多くのアパートが点在しており、本学学生も入居しています。家賃は月額25,000円～50,000円(6畳～8畳)です。詳しくは、学生課にお問い合わせください。



合宿研修所



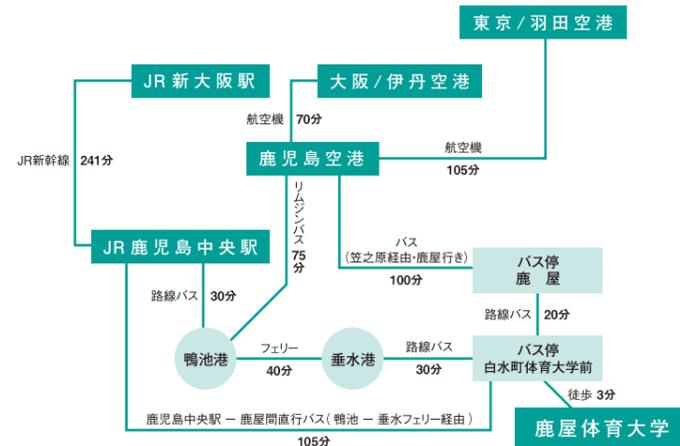
霧島ヶ丘公園 (かのやばら園)



## 人と自然が 輝くまち 地域の恵みが 響きあうまち

青空に白くひとすじの飛行機雲。  
1年中、エバーグリーンな樹木。  
波を茜色に染めて沈む港の夕日。  
空、海、森、人が輝くまち、「鹿屋」。  
この明るい南の息吹が、  
若い心に、体にそそぎこみます。  
自然と住みやすさに恵まれた  
大隅半島の中核都市で、  
ひと回りもふた回りも大きくなっていく  
キミの未来が見えます。

### 交通手段



## 所在地

Location

# Data

スポーツマンを支える  
もう一つの記録=UNIV.データ。

一人の学生に戻って考えるとき、知っておきたいことを、  
実践的データとして紹介します。  
入試から、学生生活、就職ガイドまで、  
いろんなデータを活かして、You Win!

## 平成25年度入学者選抜実施結果

### スポーツ総合課程

単位：名

区分	募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
AO(SS)入試	10	11(6)	11(6)	11(6)	11(6)
推薦入試	50	68(31)	68(31)	50(26)	50(26)
一般入試	60	267(49)	258(47)	69(10)	68(10)
特別入試	帰国子女	若干人	1(1)	1(1)	1(1)
	社会人	若干人	0(0)	0(0)	0(0)
私費外国人留学生入試	若干人	2(0)	1(0)	1(0)	1(0)
計	120	349(87)	339(85)	132(43)	131(42)
第3年次編入	20注1)	43(16)	43(16)	20(9)	19(9)

### 武道課程

単位：名

区分	募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
AO(SS)入試	5	3(1)	3(1)	3(1)	3(1)
推薦入試	20	26(13)	26(13)	22(9)	22(9)
一般入試	25	44(6)	43(5)	28(1)	27(1)
特別入試	帰国子女	若干名	0(0)	0(0)	0(0)
	社会人	若干名	0(0)	0(0)	0(0)
私費外国人留学生入試	若干名	1(0)	1(0)	1(0)	1(0)
計	50	74(20)	73(19)	54(11)	53(11)
第3年次編入	20注1)	3(3)	3(3)	1(1)	1(1)

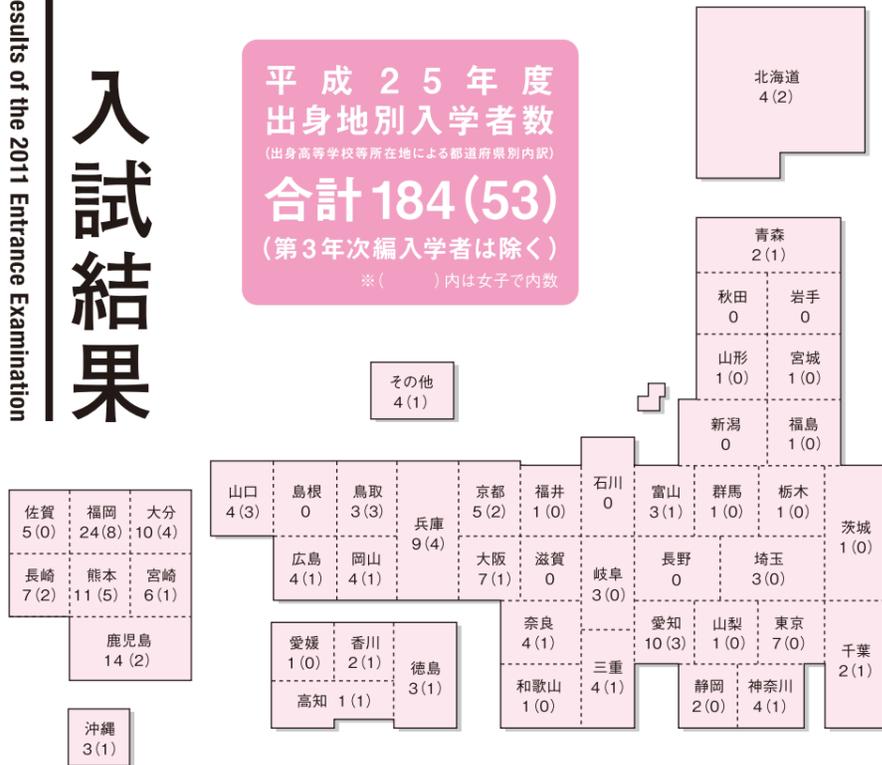
( )は、女子で内数。注1)第3年次編入の募集人員は、スポーツ総合課程と武道課程と共通。

# 入試結果

平成25年度  
出身地別入学者数  
(出身高等学校所在地による都道府県別内訳)

合計184(53)  
(第3年次編入学者は除く)

※( )内は女子で内数



### 平成26年度入学者選抜

#### 選抜方法

次の選抜方法により実施します。

- AO(SS)入試\*
- 推薦入試
- 個別学力検査による選抜(一般入試)
- 帰国子女入試
- 社会人入試
- 私費外国人留学生入試
- 第3年次編入学試験

\*SSとは、スーパー・スチューデント(Super Student)の略で、競技能力の特に高い者を指します。

#### 選抜方法の概要

平成26年度入学者選抜要項の公表は7月下旬の予定です。

#### 選抜要項の請求

封筒の表に「平成26年度選抜要項請求」と朱書きし、返信用封筒(角形2号封筒に宛名明記・140円切手を貼付)を同封の上請求してください。

#### 請求先

〒891-2393  
鹿屋市白水町1番地  
鹿屋体育大学教務課入試係  
TEL(0994)46-4869

## 主な就職先一覧

1987(昭和62年度)~2012(平成24年度)卒業生

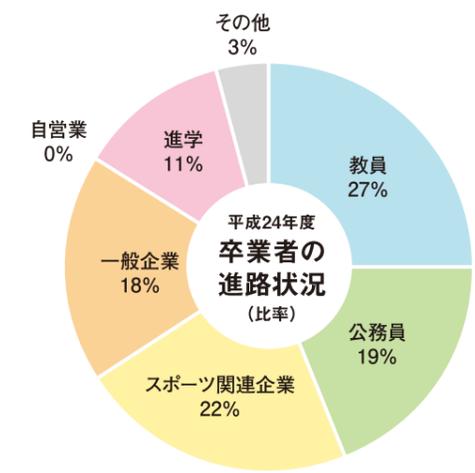
職業	就職先
公務員	行政職 秋田県
	消防 盛岡地区広域行政事務組合
	警察 青森県、秋田県、山形県
教員・研究者	小中高教員 青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
	企業等 スポーツ関連 セノーテ 東北日本電気ソフトウェア㈱
実業団(選手)	アンソネット岩手・八幡平

職業	就職先
公務員	行政職 和歌山県、高砂市、京都市
	消防 茨木市消防
	警察 三重県、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、滋賀県、京都府
	刑務所 京都府、大阪府、神戸市、奈良少年自衛隊 陸上自衛隊
教員・研究者	中高・養護教員 三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、花園高(中高一貫)
	研究者 兵庫医療大、大阪国際大、大阪産業大、甲賀健康医療専門
企業等	スポーツ関連 セノーテ、ミズノ㈱、㈱アシックス、サイクルベースあさひ、大野DOJO、イトマン・スミダックス
	一般企業 ㈱モンベル、NTT西日本、日本生命保険相互会社、㈱CDG、㈱モロゾフ、㈱セコム三重、三恵観光㈱、積水ハウス㈱
実業団(選手)	日本生命アスレチックス、ワコール、クリムゾンフットボールクラブ、和歌山トリアンズ

職業	就職先
公務員	行政職 山口県、宇部市、長門市、周南市、広島市
	消防 出雲市
	警察 島根県、岡山県、山口県
	刑務所 松江市、広島県、山口県
	自衛隊 航空・陸上自衛隊
教員・研究者	中高・特別支援教員 鳥取県、岡山県、広島県、山口県、広島工業大
	研究者 吉備国際大、環太平洋大、広島経済大
企業等	スポーツ関連 ㈱ルネサンス
	一般企業 J R西日本広島支社、㈱ユニクロ、J A岡山、広島YMCA
実業団(選手)	山口県体操協会、ユニクロ(女子陸上)、大野石油広島オイラーズ、ガイナール鳥取

職業	就職先
公務員	行政職 徳島県、高知県、池田町、高松市、宇和島市
	消防 宇和島広域
	警察 徳島県、香川県、高知県、愛媛県
教員・研究者	刑務所 徳島県、松山市
	中高・特別支援教員 徳島県、香川県、愛媛県、高知県、明善学園英明高、太平洋学園高
企業等	一般企業 日本食研㈱、㈱マルハン、ALSOK徳島支社、セコム高知㈱、大塚製薬㈱、第一三共㈱
	実業団(選手) J2徳島ヴォルティス、香川オリビエガイナース

職業	就職先
公務員	行政職 福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、鹿屋市、大分県、鹿児島県、福岡県体育協会
	消防 福岡市、日向市、都城市、垂水市、有明広域事務組合
	警察 福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県
	刑務所 福岡県、佐賀少年、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県
教員・研究者	自衛隊 陸上・海上自衛隊
	小中高・特別支援教員 福岡県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県、精華路女子高
企業等	研究者 九州共立大、活水女子大、熊本県立大、熊本大、鹿屋体育大、第一工業大、都城高専
	スポーツ関連 ㈱太陽スポーツクラブ
実業団(選手)	一般企業 ㈱九電工、トヨタカラー博多㈱、ネットヨタ鹿児島㈱、KDDI㈱、㈱マルハン、アイ・ケイ・ケイ㈱、ABC MART、福岡ALSOK
	佐川急便、㈱サカイ引越センター鹿児島支社、江藤酸業㈱、ファイザー㈱、㈱翔栄佐賀支店、㈱ハウスデンボス、福岡証券取引所、㈱鹿児島銀行、㈱沖縄銀行、㈱鹿児島放送
実業団(選手)	サガン鳥栖、ロアッソ熊本、大分HOYO、TOTO陸上、ギラヴァンツ北九州、宮崎シャニングサンズ、京セラ陸上部

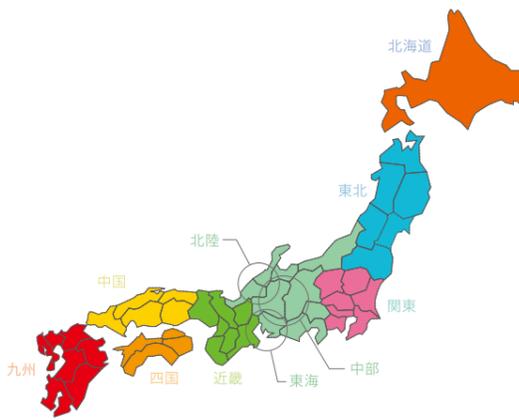


職業	就職先
公務員	陸上自衛隊
教員・研究者	北海道教育大、上士別小
一般企業	札幌テレビ放送、北海道YMCA

職業	就職先
公務員	行政職 東京都、水戸市、桐生市、藤沢市
	消防 東京消防庁
	警察 神奈川県、千葉県、埼玉県、茨城県、警視庁、皇宮警察
教員・研究者	刑務所 栃木県黒羽、横浜市
	自衛隊 海上自衛隊、自衛隊体育学校
企業等	小中高・特別支援教員 茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、静岡県、東京都、神奈川県
	研究者 筑波大、順天堂大、慶應義塾大、日本女子大、日本女子体育大、東京海洋大、横浜国立大
企業等	スポーツ関連 ㈱ルネサンス、セントラルスポーツ㈱、㈱アコーディア・ゴルフ、㈱ハイパー・フィットネス、㈱デサント、㈱コナミスポーツ&ライフ
	一般企業 ALSOK、セコム㈱、㈱ニコニコ堂、㈱レオパレス21、田崎真珠㈱、㈱資生堂、㈱ワタミグループ、セブンイレブンジャパン㈱、キャノン㈱、富士ゼロックス㈱、㈱東芝、本田技研工業㈱、㈱ベースボールマガジン社、J R東日本、㈱マイナビ、㈱ジャニーズ事務所、㈱ホリプロ、㈱ユニテッドアローズ
実業団(選手)	ダンジャロ&ヌッティニココーポレーション、チームプリヂスティアンカー、F.C.東京、川崎フロンターレ、清水エスパルス(スクールコーチ)

職業	就職先
公務員	行政職 諏訪市、知多市、高岡市、刈谷市
	消防 豊田市
	警察 新潟県、富山県、愛知県
教員・研究者	刑務所 新潟県、福井県、岐阜県
	小中高・特別支援教員 新潟県、富山県、石川県、岐阜県、石川高専、日本福祉大附属高、愛知県みずほ大瑞穂高
企業等	研究者 山梨学院大、岐阜大
	一般企業 トヨタ車体㈱、アイシン精機㈱、㈱デンソー、LIXIL㈱、㈱リクルート松本支社、㈱コメリ、名古屋銀行、㈱ナゴヤドーム、㈱ヒマラヤ
実業団(選手)	岐阜県体育協会、新潟アルビレックス、N-Style

職業	就職先
公務員	JICA JOGV PARAU OFFICE(パラオ)
教員	ヤンゴン日本人学校(ミャンマー)、ピエンチャン日本語補習学校(ラオス)
企業等	ANDY SPORTS CO.,LTD.(中国・上海)、㈱藤田上海項目部事務所(中国・上海)
実業団(選手)	USA Volleyball(コロラド州)、Macy Tennis Team(タイ)



# 就職

Career Prospects

キャリア形成支援室には、求人票、参考図書、企業案内書等が備えてあり、自由に閲覧できるようになっています。企業のHPにアクセスできるようにパソコン(3台)を備えています。(利用時間/8:30~17:15)また、就職相談員を配置し、就職相談に対応しています。



**入学料等** (平成24年度実績)

区分	金額	納入時期	
入学料	282,000円	入学時	
授業料	前期	267,900円	4月30日まで
	後期	267,900円	10月31日まで
その他経費 (各種保険料等)	84,060円	入学時	

**学費の免除**

- 入学料免除**  
入学前1年以内において、入学する者の学費を主として負担している者(学費負担者)が死亡し、又は入学する者若しくは学費負担者が風水害等の災害を受けたことにより入学料の納付が著しく困難であると認められる者は、願い出により入学料の全額又は半額が免除されることがあります。(大学院生は経済的理由で申請可)
- 授業料免除**  
次に該当する者は、願い出により授業料の全額又は半額が免除されることがあります。  
① 経済的理由により入学料の納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる者  
② 入学前1年以内において、学費負担者が死亡し、又は入学する者若しくは学費負担者が風水害等の災害を受けた者
- 入学料特別免除・授業料特別免除**  
競技成績又は学業成績の特に優れた者に対し実施します。  
競技成績、一般入試成績又は学業成績を基に選考(本人申請手続きは不要。)

**鹿屋体育大学 日本学生支援機構 奨学生数一覧**

入学年度	学部					大学院						
	学生数 a	一 種	二 種	入学時増額貸与	計 b	貸与比率 b/a	学生数 c	一 種	二 種	入学時増額貸与	合計 d	貸与比率 d/c
21	211	33	104	7	144	68%	32	11	4	12	27	84%
22	204	28	99	7	134	66%	21	5	0	0	5	24%
23	174	37	72	12	121	70%	28	9	2	0	11	39%
24	179	27	89	17	133	74%	29	9	4	1	14	48%

注) 地方公共団体・民間の育英奨学事業団体等の奨学金もあります。

教育研究活動中の不慮の災害事故の補償や、課外活動中・往復中の事故の補償のほか、他人への賠償等のために、次のような各種傷害保険を準備しています。なお、学部学生は、入学時に学生教育研究災害傷害保険及びスポーツ安全保険に全員加入しています。

学生教育研究災害傷害保険	学生が体育実技や実験実習等の正課の授業中、学校行事、課外活動中等、教育研究活動中の事故や通学中等の事故によって被った傷害に対して、補償する制度。本学では、学生が安心して学業に励むことができるように入学時に全員加入していただいています。	保険料：3,300円(4年間) 1,750円(2年間)
スポーツ安全保険	サークル等でスポーツ活動、指導活動を行う者が、その活動中や往復中に生じた事故によって傷害を被った場合や他人にケガをさせたり、他人の物を壊したりして損害賠償を負った場合、補償する制度。本学では、学生が安心して課外活動ができるように入学時に全員加入していただいています。	保険料：7,400円(4年間) 3,700円(2年間)
傷害総合保険	教育研究活動中のみならず日常生活で生じたさまざまな事故に対して、総合補償する制度。損害賠償制度や学費・育英費用にも対応しており、加入は、任意となっています。	保険料：自宅38,000円 寮・アパート 45,000円(4年間) 自宅 20,000円 寮・アパート 25,000円(2年間)
学研災付帯学生生活総合保険		保険料 自宅A 43,370円 自宅B 32,670円 自宅C 53,170円 自宅D 42,470円 (4年間)

**日本学生支援機構**

- 第一種奨学金(無利子)**  
人物・学業共に特に優れかつ健康であって、経済的理由により著しく就学困難と認められる者に貸与されます。
- 第二種奨学金(有利子)**  
人物・学業共に優れかつ健康であって、経済的理由により著しく就学困難と認められる者に貸与されます。
- 入学時特別増額貸与奨学金(有利子)**  
国民生活金融公庫の教育ローンを低所得を理由に受けられなかった世帯向け。人的保証制度に代わる機関保証制度により、保証人がいない場合でも一定の保証料を支払うことにより奨学金を貸与されることがあります。

**【貸与金額】(平成25年4月1日)**

大学	第一種奨学金(無利子)	第二種奨学金(有利子)
大学	・第一種奨学金(無利子) 自宅通学者：45,000円または30,000円、 自宅外通学者：51,000円または30,000円	・第二種奨学金(有利子) 3・5・8・10・12万円から選択
大学院 (修士課程)	・第一種奨学金(無利子) 88,000円または50,000円	・第二種奨学金(有利子) 5・8・10・13・15万円から選択
大学院 (博士後期課程)	・第一種奨学金(無利子) 122,000円または80,000円	・第二種奨学金(有利子) 5・8・10・13・15万円から選択
入学時増額貸与	(有利子) 10・20・30・40・50万円から選択	

Scholarships  
**奨学金**

Q Question

推薦入試と一般入試ではどのような試験を実施しているのですか?

平成25年度入試については、本学が行う試験を次のとおり実施しました。  
・推薦入試：実技検査、面接、小論文  
・一般入試：実技検査、面接  
なお、一般入試では大学入試センター試験も加えて選抜されます。平成26年度については、学生募集要項を請求して確認してください。

3年次編入学試験の小論文では、どのような問題が出題されましたか?

本学の教育を受けるにふさわしい資質をみるため、競技スポーツ、武道、健康、体力等の領域から出題します。なお、過去問題を次のとおり配布しています。  
・請求方法：封筒の表に「3年次編入学小論文過去問題請求」と朱書きし、返信用封筒(長形3号封筒に宛名明記、80円切手貼付)を同封の上、本学へ送付のこと。

合格者発表は電話で教えてもらえますか?

電話での問い合わせには、一切応じていません。合格者発表は、本学掲示板への掲示と、本人あて「合格通知書」の送付によります。  
なお、本学ホームページ上でも合格者受験番号を公表しています。

サークルには必ず加入しなければなりませんか?

サークルに所属することにより、競技力の向上を目指すことができるだけでなく、集団生活の中で規律を守ることや人間形成を図ることができるため、できるだけ加入することを勧められています。また体育系サークルだけでなく研究会もあります。  
なお、本学サークルでは、いわゆる先輩部員によるシゴキとかイジメなどはありませんので、安心してください。

自動車による通学はできますか?

学内駐車許可は、通学が片道1km以上に限定して許可しています。学生宿舎からの自動車による通学はできません。

学生宿舎は希望すれば入居できますか?

学生宿舎は、大学敷地内にあり、その経費も、普通のアパートに比べ安価であるため、入居希望者が多く、必ずしも全員が入居できるとは限りません。しかし、新入生は、優先的に入居できるように在学生よりも枠を多く設けるなど配慮しています。詳細は、学生課に照会してください。

アルバイトはできますか?

学生は勉学が本分であり、過度のアルバイトは好ましくありません。しかし、経済的事情等である必要がある学生のために、適宜紹介を行っています(危険を伴うもの、教育上好ましくないもの、法令等に違反するもの等アルバイトとして適当でない業種については紹介していません。)学生課に登録台帳を置いていますので、自由に閲覧して選択してください。

Answer **A**

Q & A インフォメーション

**大学説明会(鹿屋体育大学白水キャンパスで開催)**

本学の特色や教育・研究の内容について理解を深めてもらうとともに、施設見学等により、進路選択の参考としてもらうために次のとおり実施します。受験生、保護者、高校の先生方、多数の参加をお待ちしています。

- ①在学生からのアドバイス ②質疑応答 ③実験、実習体験を含む施設見学 ④サークル活動見学 ⑤大学案内・入試資料・記念グッズ配付

第1回 平成25年7月20日(土) 10:20~16:00

第2回 平成25年10月19日(土) 10:20~16:00

**体験授業**

本学の教育・研究内容を少しでも知っていただくために、高校生、受験希望者(保護者を含む)を対象に次のとおり体験授業を企画いたしました。多数の参加をお待ちしています。

実施日 平成25年7月21日(日)

区分	科目名	担当	授業内容	時間	募集人員
A	「ヘルスプロモーション論」	竹島伸生 教授	少子化超高齢化社会の到来で、寿命が長くなった中でいかに健康で自立した生活を営めるか	9:00 ~ 10:10 (70分)	50名
B	「マッサージ・テーピング論・実習」	藤田英二 講師	スポーツ活動中に多く発生する足関節捻挫に対するテーピング	10:30 ~ 11:40 (70分)	50名

**大学説明会**

(東京サテライトキャンパス(筑波大学・鹿屋体育大学連携推進室)で開催)  
(所在地：東京都文京区大塚3-29-1)

- 第1回 平成25年5月26日(日) ●第5回 平成25年11月17日(日)
- 第2回 平成25年6月23日(日) ●第6回 平成26年1月26日(日)
- 第3回 平成25年8月17日(土) ●第7回 平成26年3月23日(日)
- 第4回 平成25年8月18日(日)

※時間はいずれの回も13時(受付)~16時30分※日程は変更になることがあります。

詳細については、本学ホームページをご覧ください。



インターネット  
<http://www.nifs-k.ac.jp/>  
鹿屋体育大学のホームページを開設しています。学部・大学院の詳しい内容やキャンパスライフ、入試情報などをお知らせします。

本学ホームページ



資料請求



Q & A Information

## 心でかく汗、 体で見る夢。

ヘルシーな心は、ヘルシーな体に宿る。  
そんな実感の日々が待っています。  
夢が精神をストレッチしてくれる。  
夢が身体にマインドを調和させる。  
そんな「生きてる時間」が流れていきます。



全国でただ一つの国立の4年制体育大学



国立大学法人  
**鹿屋体育大学**

〒891-2393 鹿児島県鹿屋市白水町1番地  
TEL : 0994-46-4869  
URL <http://www.nifs-k.ac.jp/>